徳島県　電子納品
図面管理表 ver.1103
マニュアル
<ＸＭＬ作成編>

※基本的な操作は、マニュアル「基本操作編」をご覧ください

平成２３年３月

徳　島　県
県土整備部

2011_0328版

はじめに

このマニュアルは、「徳島県 電子納品 図面管理表 ver.1103」のXML作成機能の部分を取りまとめたものです。基本操作についてはマニュアル「基本操作編」を参照してください。

XML作成機能は、電子納品の成果品を作成する作業のサポートを目的として開発されました。次の機能があります。

１　XMLファイル作成機能
XML,DTD,XSLの各ファイル
INDEX_C.XML , INDE_04(05).DTD
DRAWINGS(F).XML , DRAW_03(04).DTD
INDE04(05).XSL,DRAW03(04).XSL
２　ファイル名変換機能
図面ファイルの名前を変換する
CAD製図基準英数字ファイル名　←→　日本語ファイル名
３　ガイドラインに準拠したフォルダの作成
DRAWINGS(F),PHOTO,BORING,打合せ簿,資料フォルダを作成します
４　ファイルコピー機能
３で作成したフォルダにXMLファイル、図面ファイル等の必要なファイルをコピーします
５　１～4の機能により、発注・変更・完成図フォルダの基礎部分を作成可能です。

その他の機能：
委託成果品、他工事のXMLデータ【DRAWING(S,F).XML】取り込み機能
他の図面管理表(含む旧バージョン【0911,1006(a,b)】)からの置換機能
日本語ファイル名出力機能

なお、このXML作成機能は、図面管理表の「サブ機能」であり、利用者にXML作成機能の使用を強制するものではありません。従来の図面管理表作成機能のみの利用も可能です。XML作成機能を使う使わないは、利用者の判断に委ねられ、現在使用している電子納品支援ソフトで電子納品成果品を作成することを妨げません。

免責事項：
この図面管理表で作成されたXMLを成果品に使用する場合は、各自の責任に於いてご使用ください。提出前に、徳島県電子納品チェッカーもしくは他の電子納品支援ソフト等で内容の確認をしたうえで提出してください。
また、徳島県では、提供するソフトウェアの品質についてはいかなる保証も行っておらず、開発の中止、欠陥およびそれらが原因で発生した損失や損害については一切責任を負いません。

目　次

	ページ
第1 発注図　事前準備	4
第2 発注図フォルダの作成(日本語ファイル名から作成)	6
第3 発注図フォルダの作成(設計成果品から読み込み)	12
第4 変更図フォルダの作成	16
第5 完成図フォルダの作成	20
第6 日本語ファイル名出力機能について	25
第7 他の図面管理表からのデータの移植	27

1 発注図面を準備する(成果品読み込み機能を利用の場合は不要)

・(日本語名).SFCを準備

参考例　　ファイル名付け方の一例

01平面図.SFC

図面表題　図面

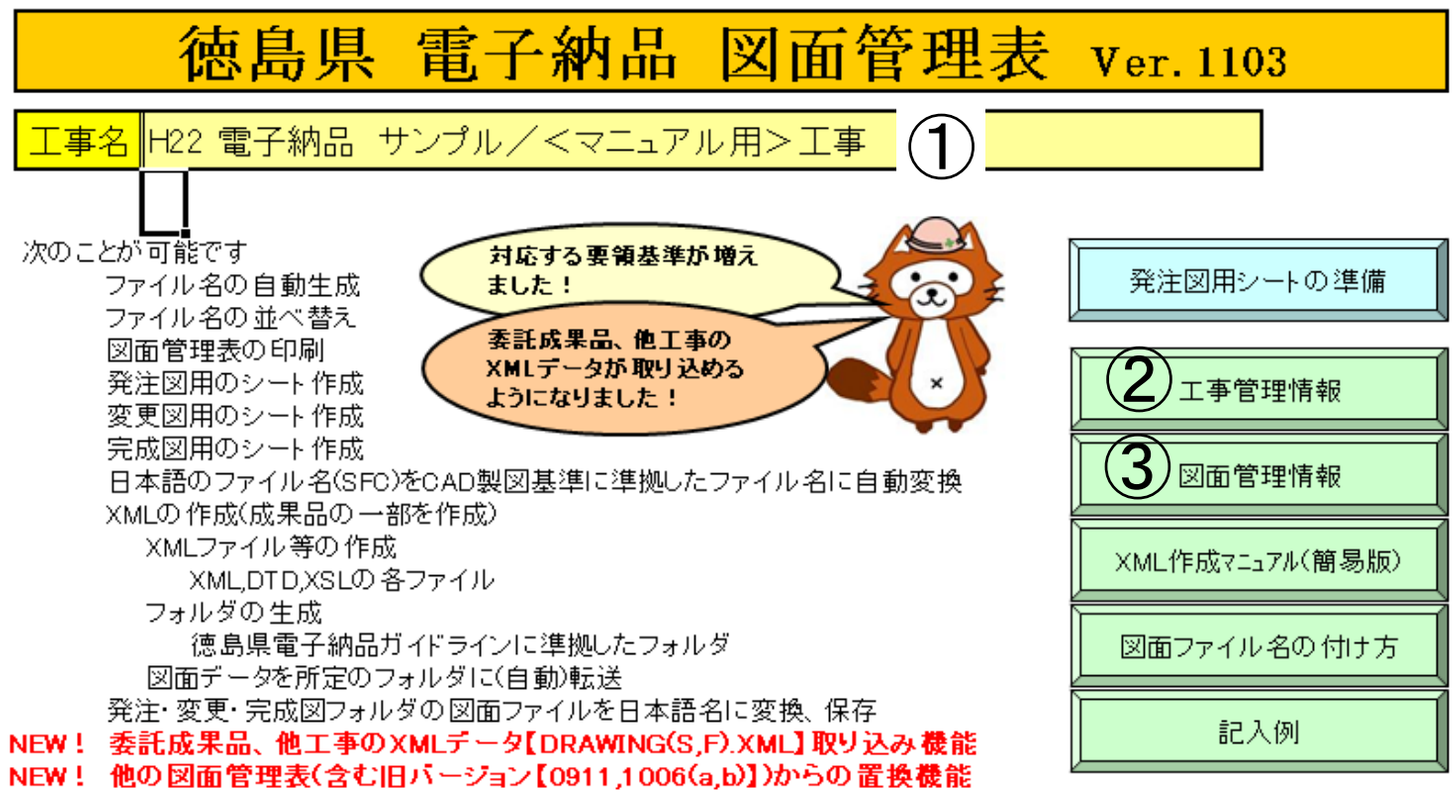
こうしておくと、後々図面管理表等で並べ替えが出たときに何かと便利

以上のファイルを、どこかのフォルダにまとめて保存しておく

例：発注図

2 図面管理表での事前準備

(1) 図面管理表を起動させると「START」シートが表示される(マクロは有効にする)



※扱えるファイル数は**500**まで

※図面管理情報の「サブフォルダ」の機能は使えません。成果品の読み込み時のみ有効です。

※対応EXCELバージョン　2000，2002，2003，2007，2010

※準拠している要領基準

徳島県電子納品運用ガイドライン【土木工事、農林土木工事編】平成21年10月

工事完成図書の電子納品要領(案) 平成20年5月

NEW！　工事完成図書の電子納品要領 **平成22年9月**

NEW！　CAD製図基準(案) 平成16年6月，**平成20年5月,農林水産省独自(農村振興土木200504-01)にも対応**

この XML作成機能は、図面管理表の「サブ機能」であり、**利用者にXML作成機能の使用を強制するものではありません。**従来の図面管理表作成機能のみの利用も可能です。XML作成機能を使う使わないは、利用者の判断に委ねられ、現在使用している電子納品支援ソフトで電子納品成果品を作成することを妨げません。

① 工事名を直接入力する

ポイン H22　×　H22 ○　英数字は半角で

サンプル ×　サンプル ○　カタカナは全角で

＜＞／　といった記号は全角で

⇒ **対処しなければチェッカーでXMLのエラーが出ます**

② 工事管理情報の入力
「START」シートのボタン[工事管理情報]をクリック　→　画面が切り替わる

未入力のデータがある場合の表示

入力項目（発注図、変更図の場合）
・XML作成タイプの選択
　→発注【発注図】をリストボックスより選択
・発注年度(西暦)
・工事番号
　→工事の契約番号(14桁の数字)を記入する。

入力完了後　↓

③ 図面管理情報の入力
「START」シートのボタン[図面管理情報]をクリック　→　画面が切り替わる

未入力のデータがある場合の表示

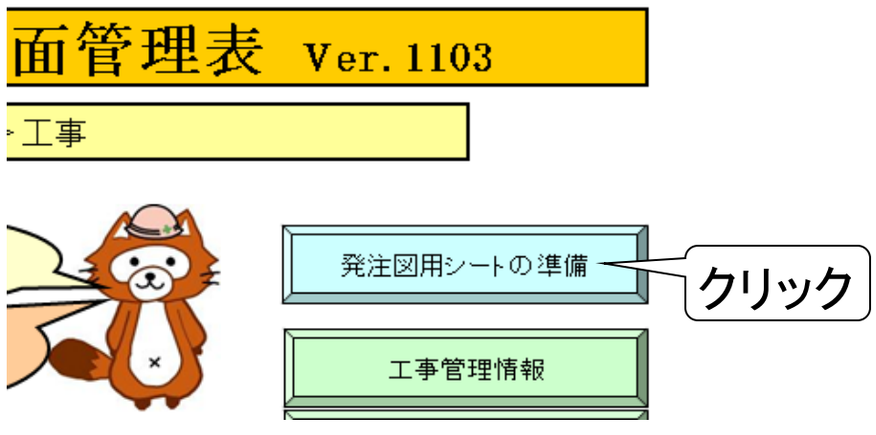
入力項目（発注図、変更図の場合）
・対象工種(数値)　→　リストボックスより選択
・図面ファイル作成ソフトウェア名　発注者
　→発注者側のCADソフトの名称を入力する。

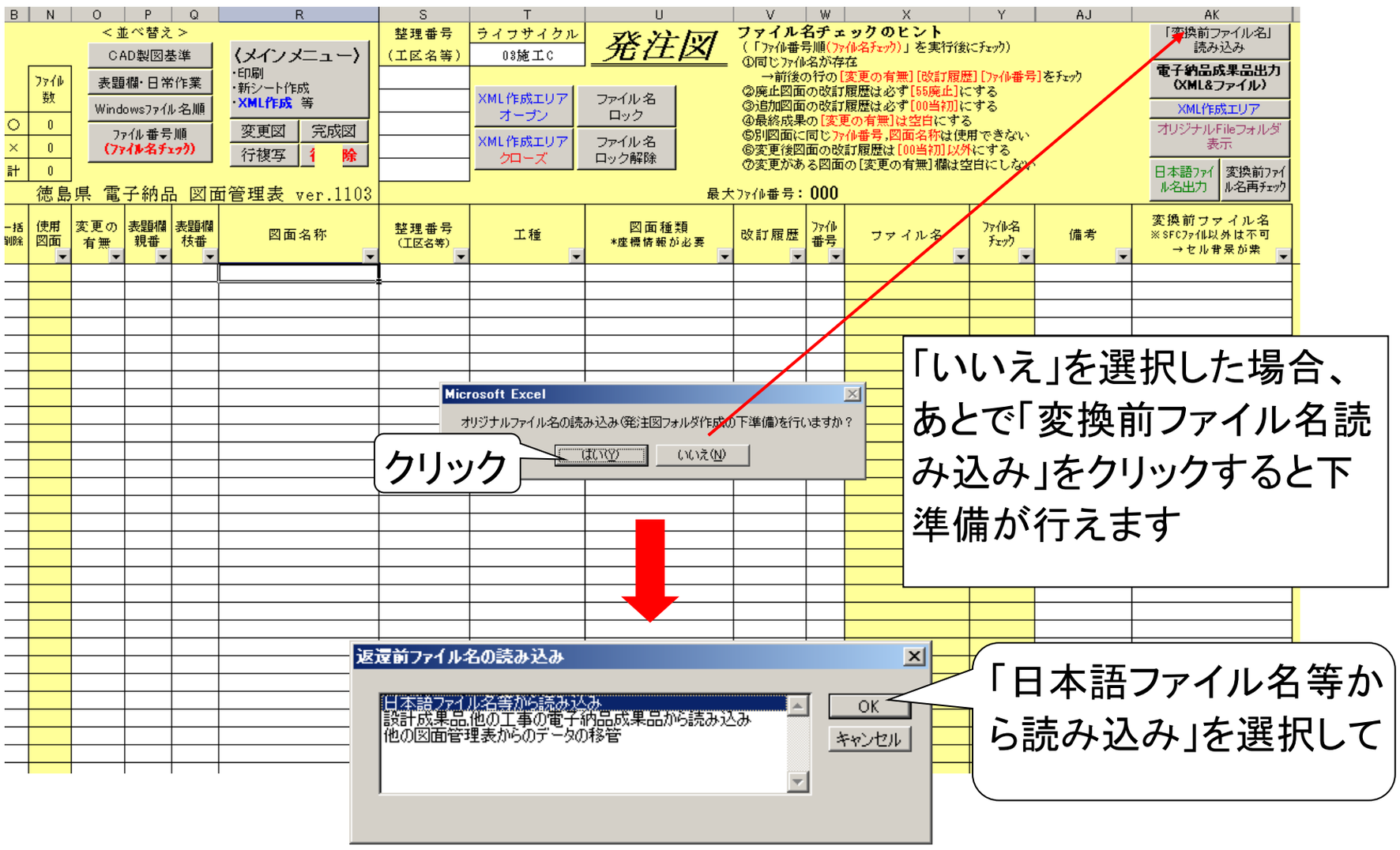
入力完了後　↓

以上で、事前準備は完了です

1 発注図用のシートを準備

(1) 「START」シートの[発注図用シートの準備]ボタンをクリック　発注図シートが作成される

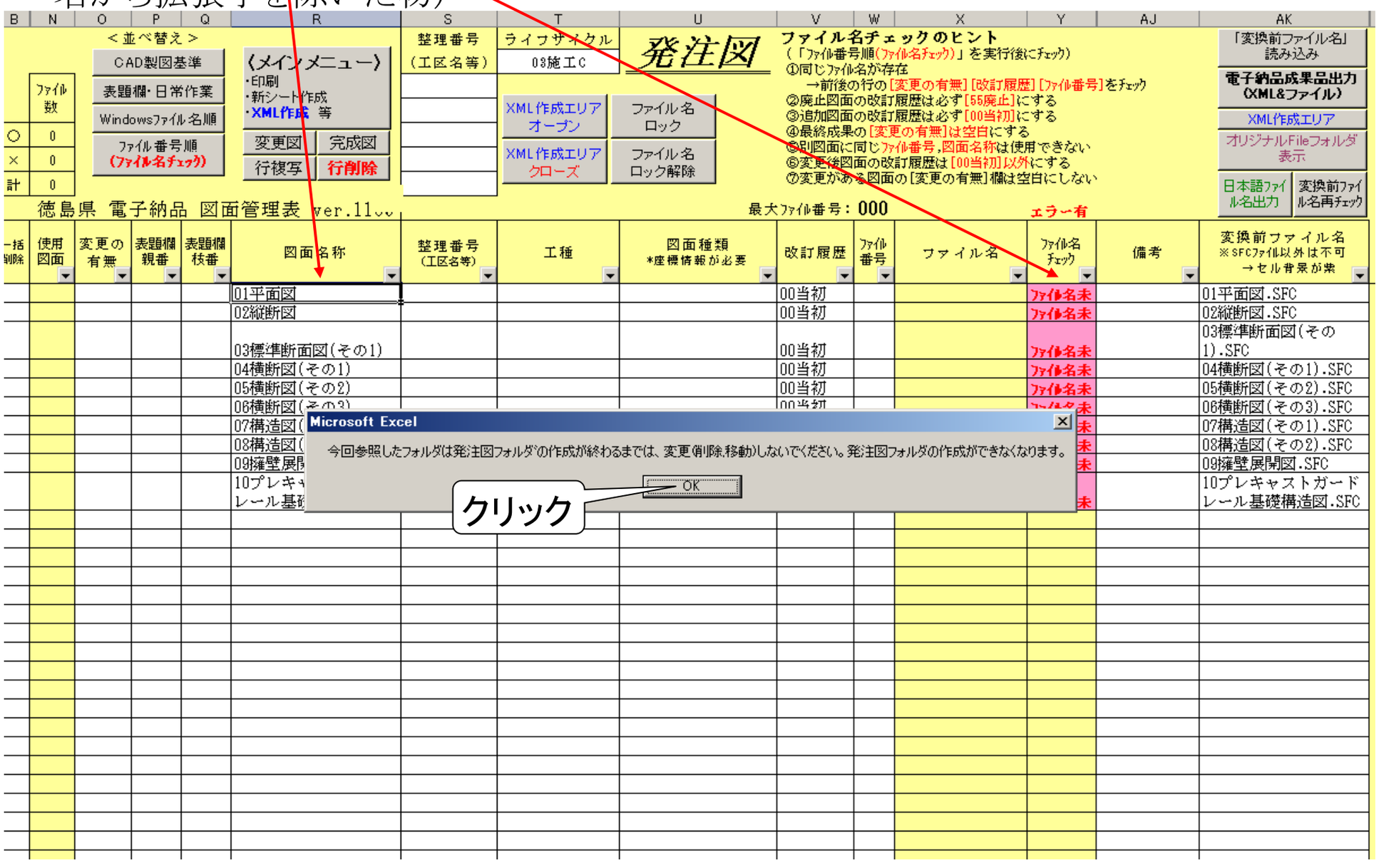




発注図のファイルが入っているフォルダを選択

発注図フォルダの作成(日本語ファイル名から作成)

変換前ファイル名欄にオリジナルのファイル名が読み込まれる
同時に、図面名称欄、改訂履歴欄にも自動的にデータが入力される(図面名称はファイル名から拡張子を除いた物)

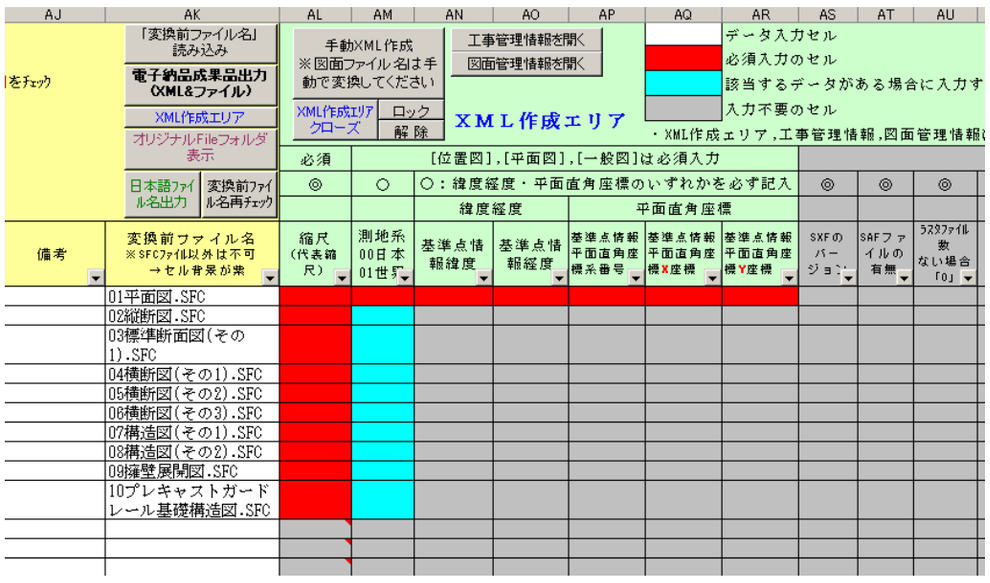


2 ファイル名の作成及びXML作成エリアへのデータ入力

(1) 図面管理表でCAD製図基準に準じたファイル名を作成する(図面管理表マニュアル 基本操作編P6～P7を参照してください)

※ファイル名ロック:
データの書き換えが出来ないようにシートを保護する
※ファイル名ロック解除:

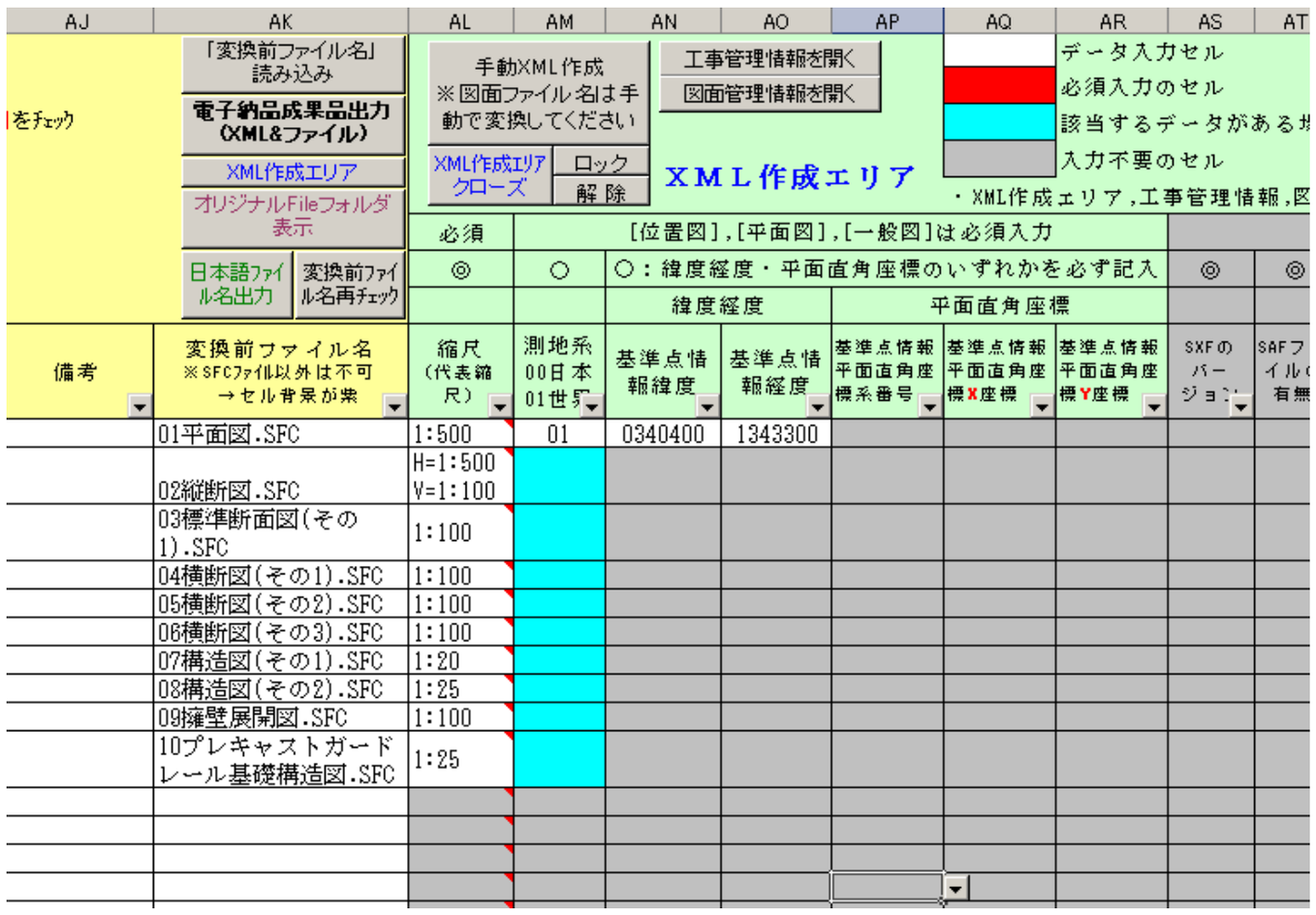
(2)XML作成エリアの表示
引き続きXML作成エリアの入力を行う



XML作成エリアに入力する項目

縮尺(リストボックスから選択できます)
測地系、緯度経度等の座標(平面図等)
その他情報(該当あれば)

(3) 必要事項の入力完了

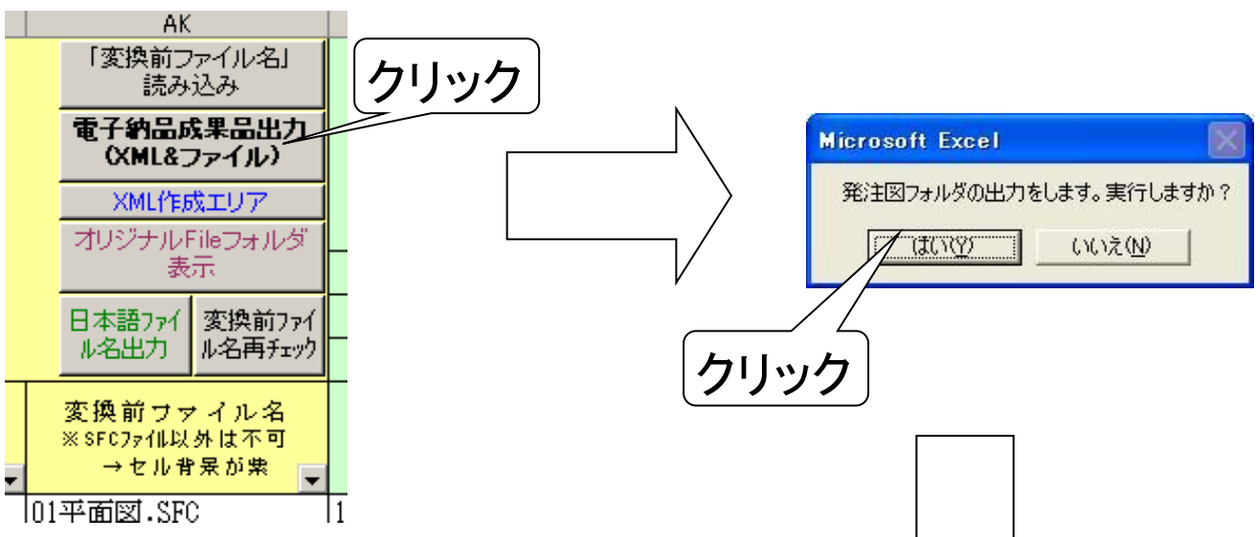


(4)ファイル名のエラーチェック

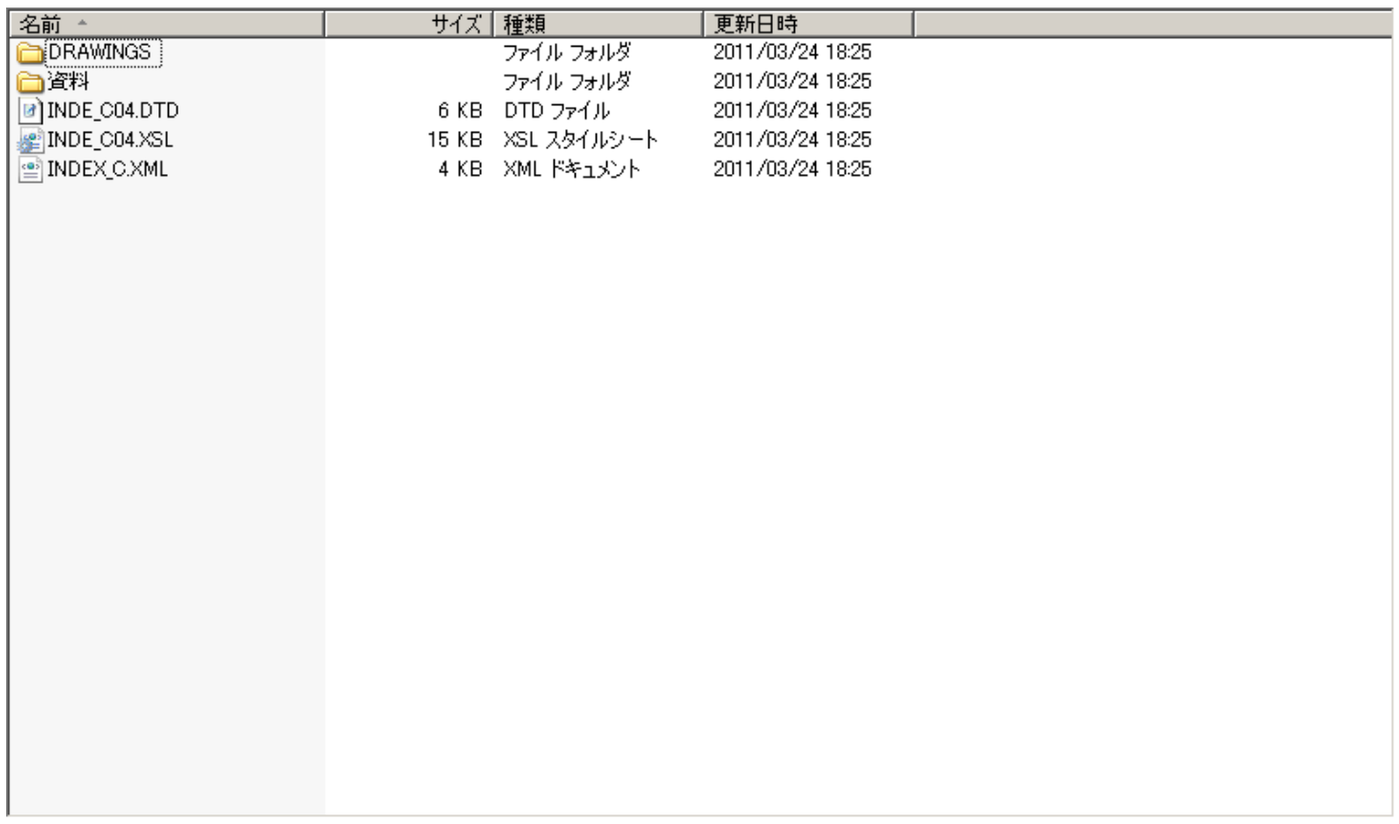
ボタン[ファイル番号順(ファイル名チェック)]をクリック

3 発注図フォルダの出力

(1) ボタン[電子納品成果品出力(XML&ファイル)]をクリック

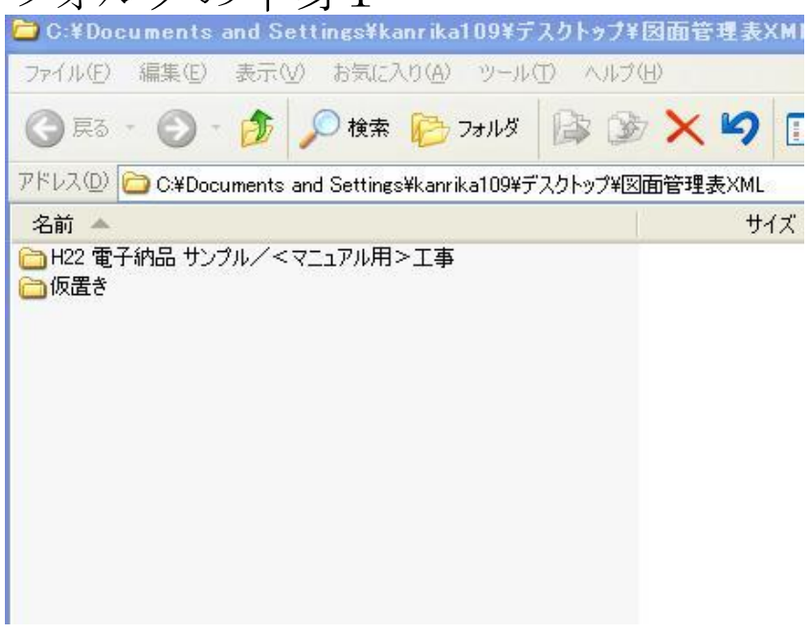


(2) XMLが出力された発注図フォルダが表示される



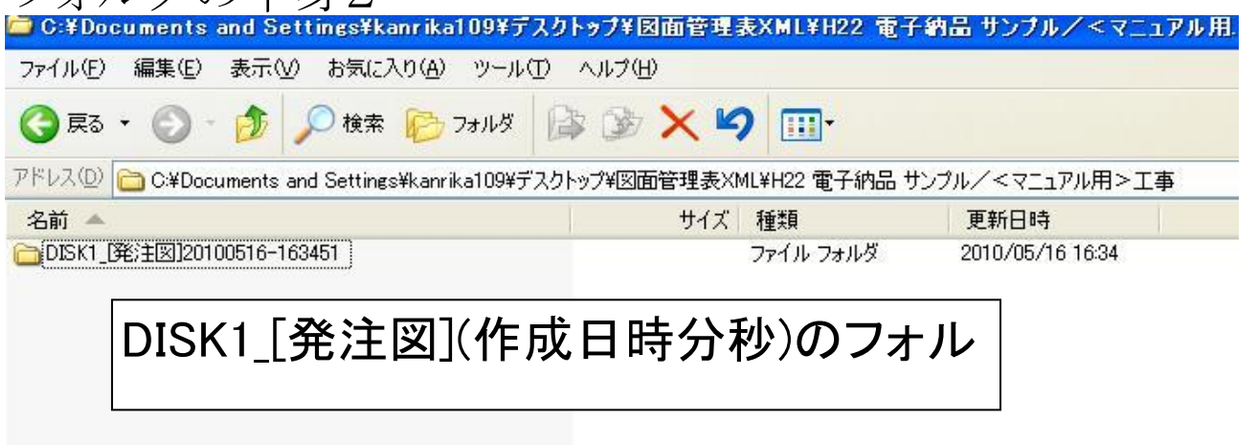
(3) 出力されたデータの確認
使用しているパソコンのデスクトップ上に「図面管理表XML」というフォルダが作成される

フォルダの中身1



当該工事のフォルダが作成済み

フォルダの中身2



DISK1_[発注図](作成日時分秒)のフォル

(4) 所定のフォルダに図面ファイルがファイル名変換されてコピーされているのを確認

名前	サイズ	種類	更新日時
SPEC		ファイル フォルダ	2011/03/24 18:24
C0CS0040.SFC	125 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0CS0050.SFC	126 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0CS0060.SFC	132 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0070.SFC	29 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0080.SFC	73 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0090.SFC	195 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0100.SFC	256 KB	SFC ファイル	2009/08/28 8:38
C0PF0020.SFC	143 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0PL0010.SFC	6,772 KB	SFC ファイル	2009/08/28 8:38
C0SS0030.SFC	59 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
DRAW03.DTD	4 KB	DTD ファイル	2011/03/24 18:25
DRAW03.XSL	10 KB	XSL スタイルシート	2011/03/24 18:25
DRAWINGS.XML	8 KB	XML ドキュメント	2011/03/24 18:25

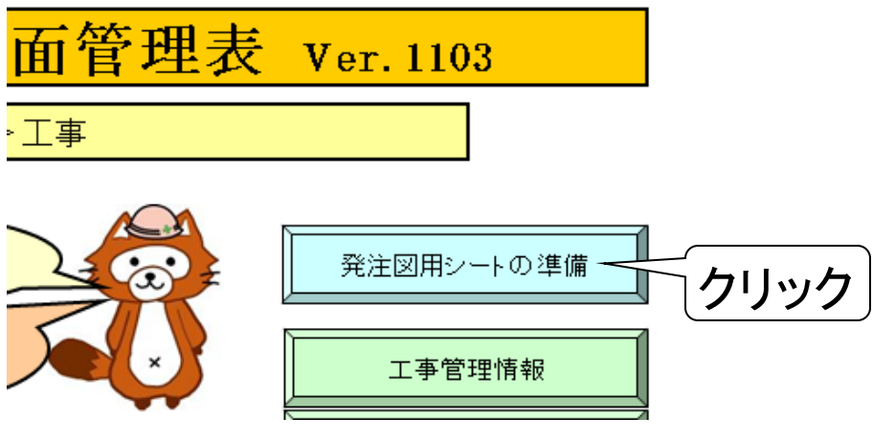
(5) 必要なデータのコピー
SPECフォルダ　仕様書、数量調書等のデータをコピー
資料フォルダ　測量データ等　(図面管理表は自動で資料フォルダにコピーされる)

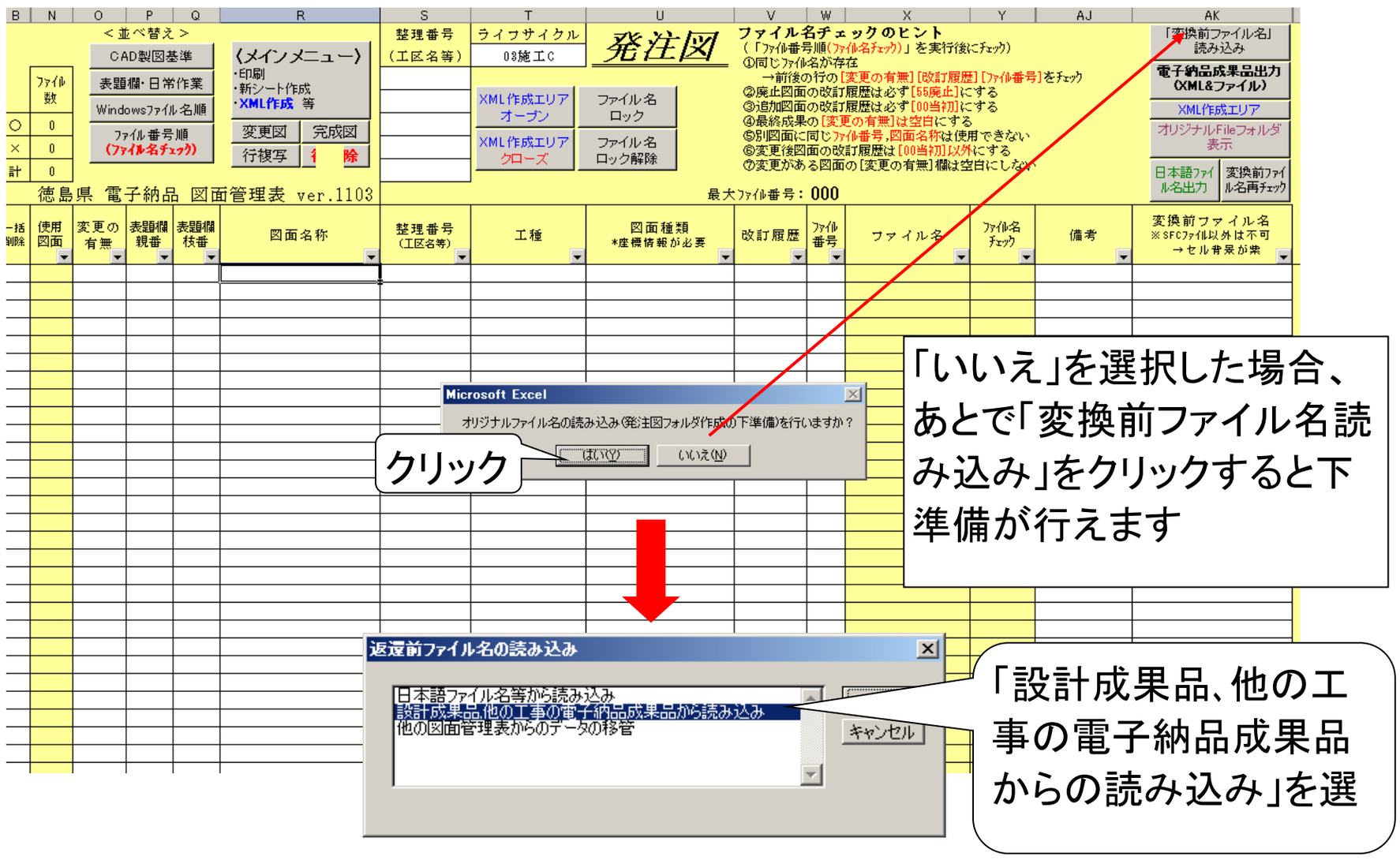
以上で、発注図フォルダの作成は完了です

図面の変更、修正作業は「日本語ファイル名出力」機能を使って書き出した、日本語ファイル名の図面を利用できます

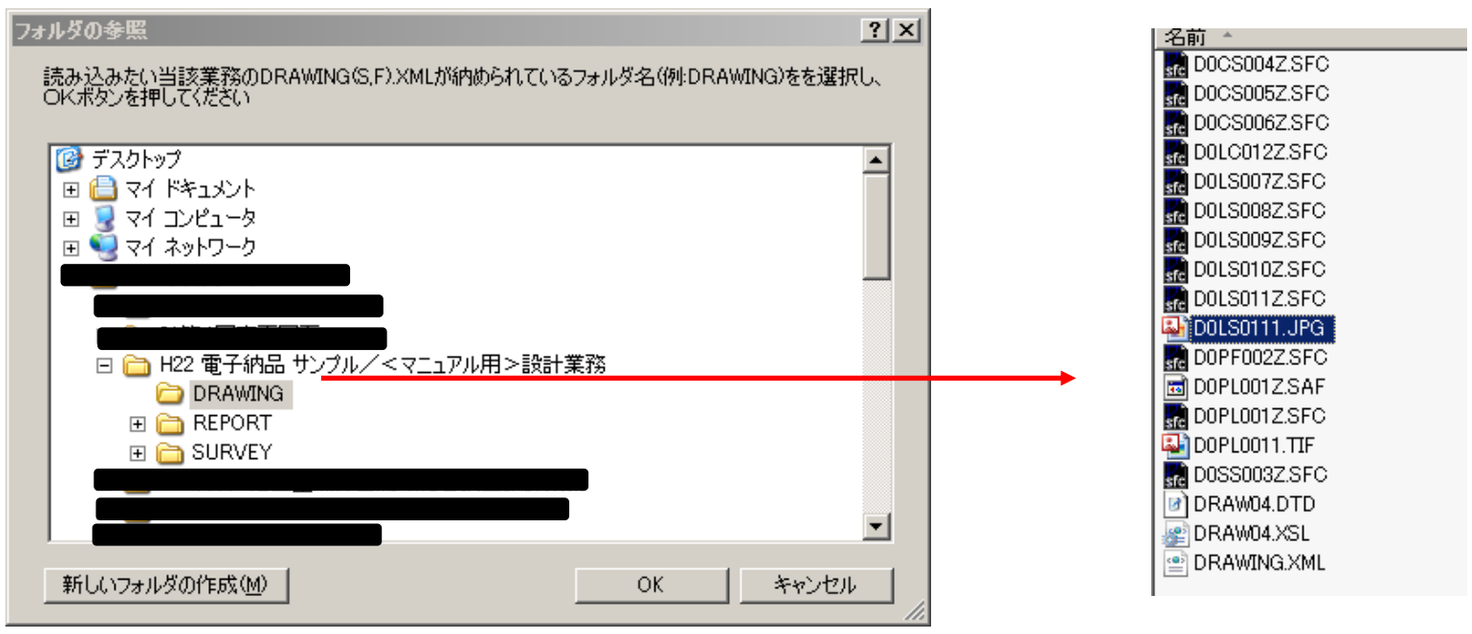
1 発注図用のシートを準備

(1) 「START」シートの[発注図用シートの準備]ボタンをクリック　発注図シートが作成される



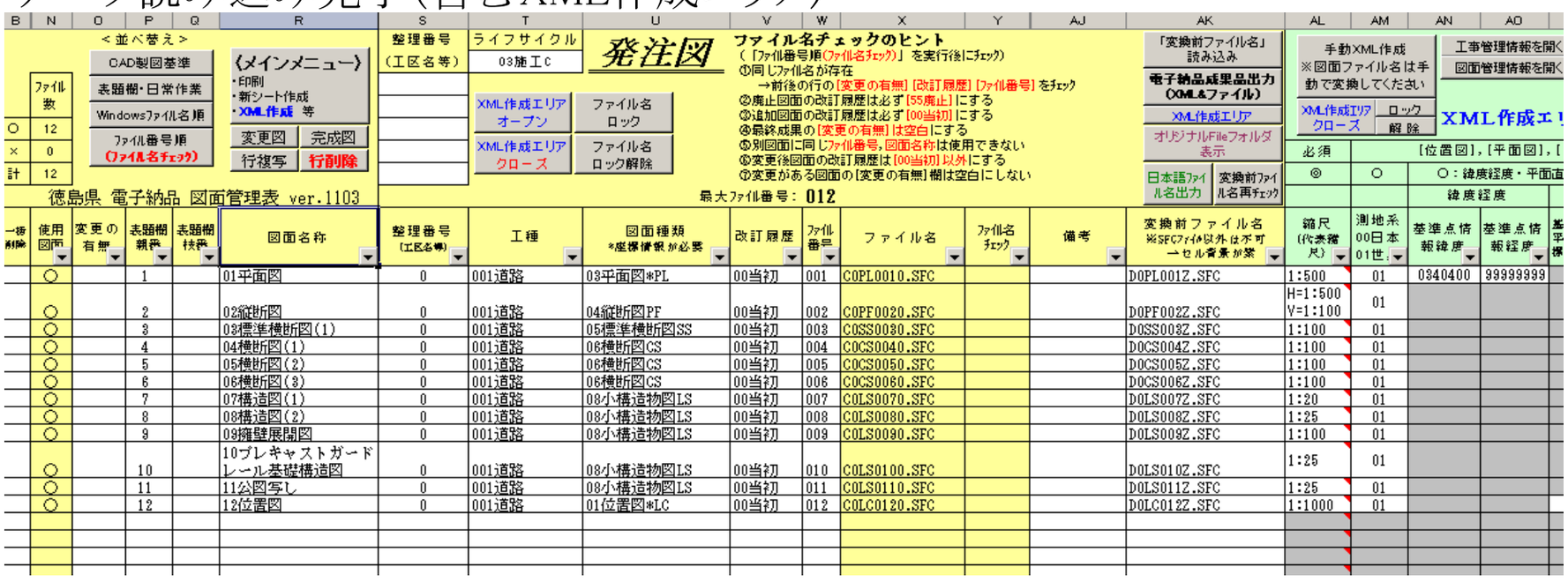


読み込み元のDRAWING(S,F).XMLファイルが入っているフォルダ(DRAWING,DRAWINGS,DRAWINGF等)を選択

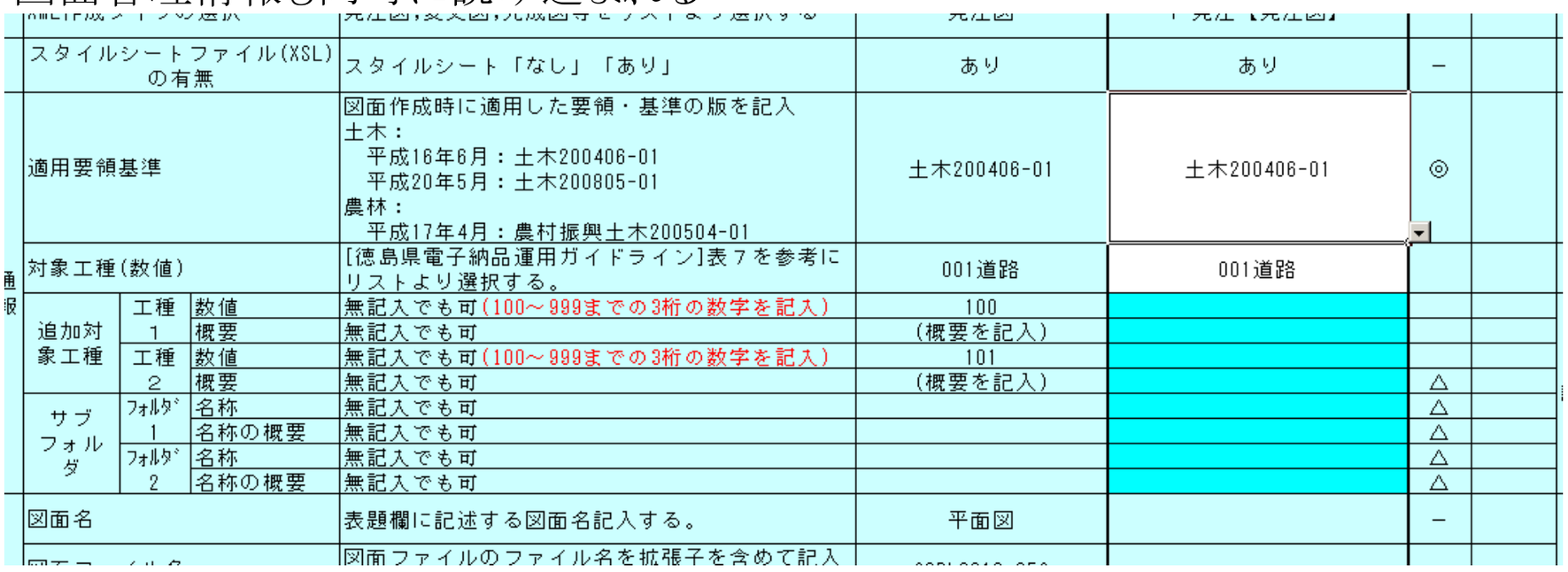


発注図フォルダの作成(設計成果品から読み込み)

データ読み込み完了(含むXML作成エリア)

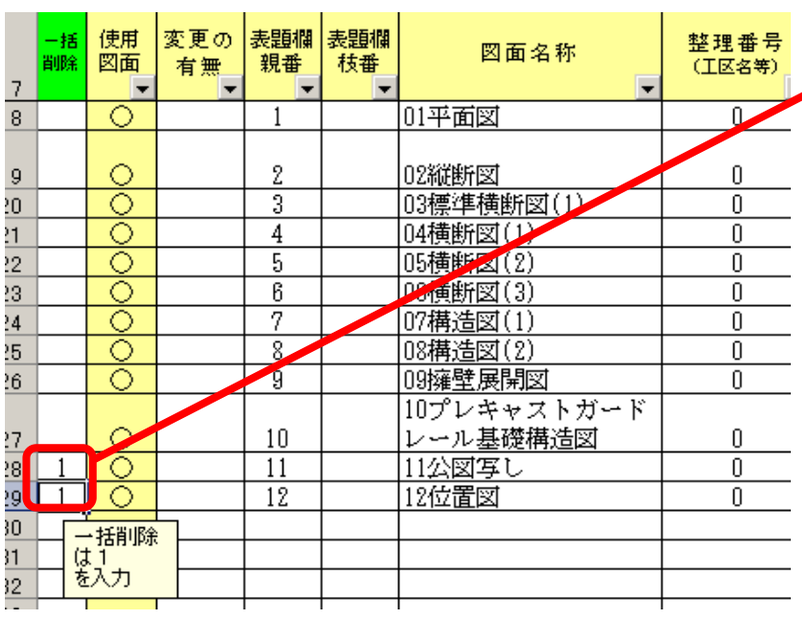


図面管理情報も同時に読み込まれる



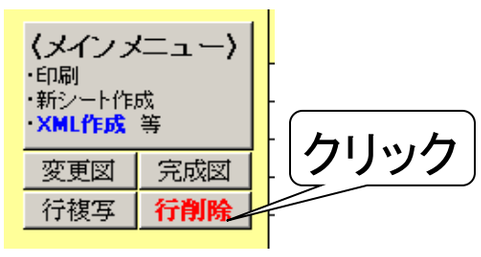
(2) 発注図に必要な図面のみ残す

読み込まれた図面は、必要ない図面もあるので、発注図に必要な図面だけを選択する

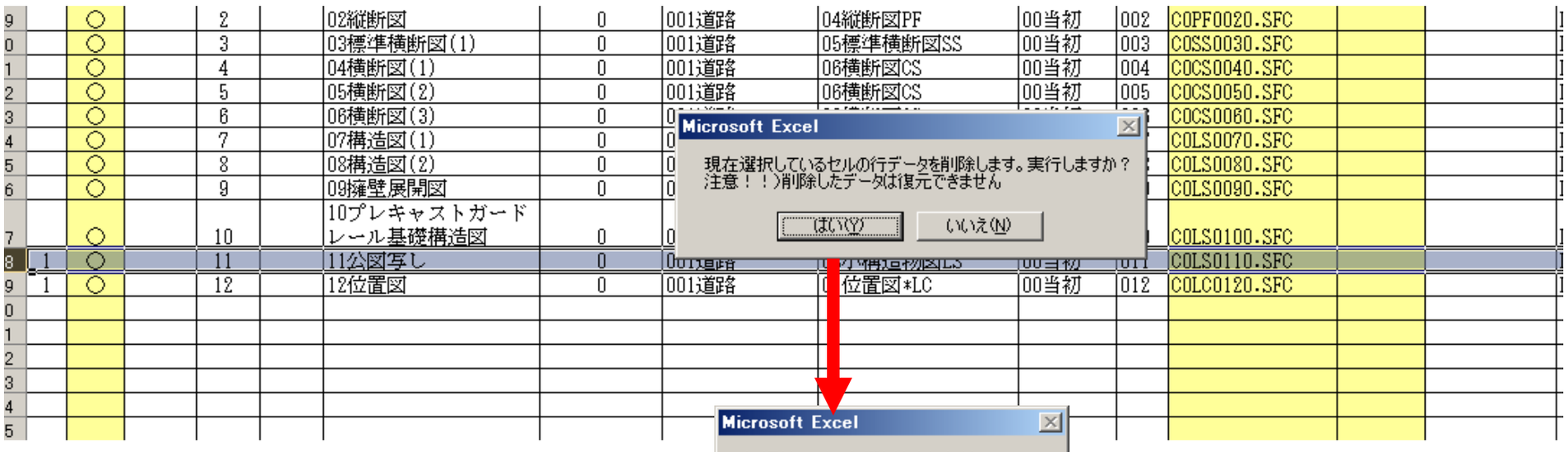


①必要ない図面の「一括削除」欄に[1]を入力

②「行削除」を実行



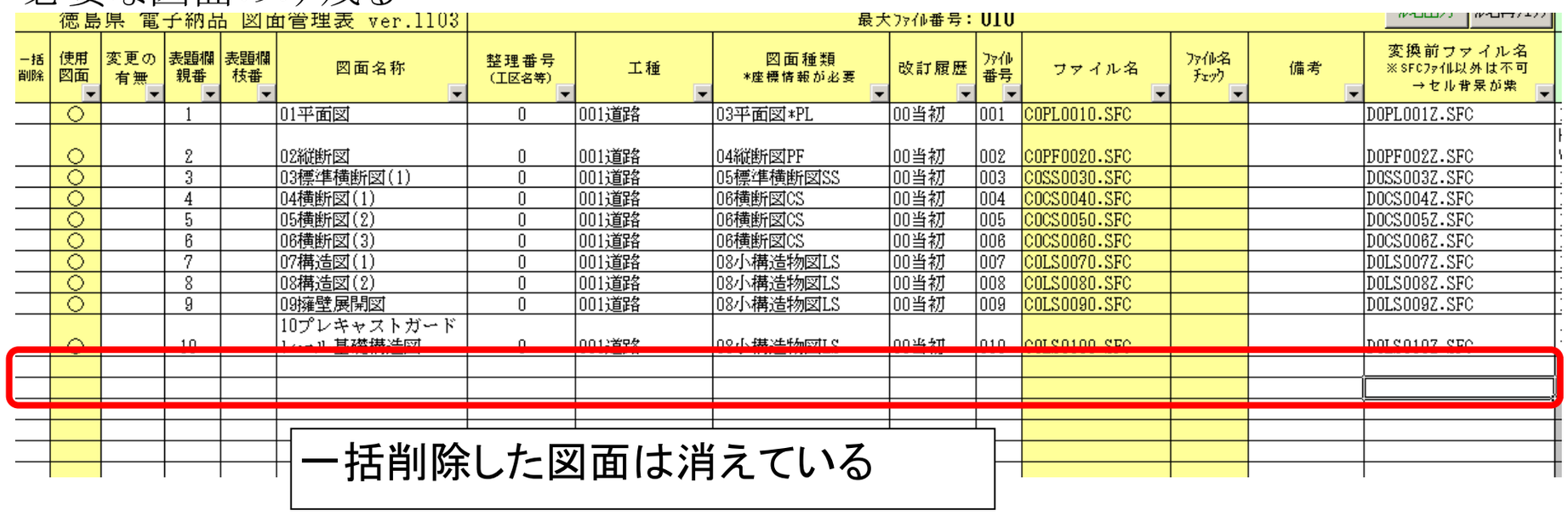
よければ「はい」をクリック



よければ「はい」をクリック

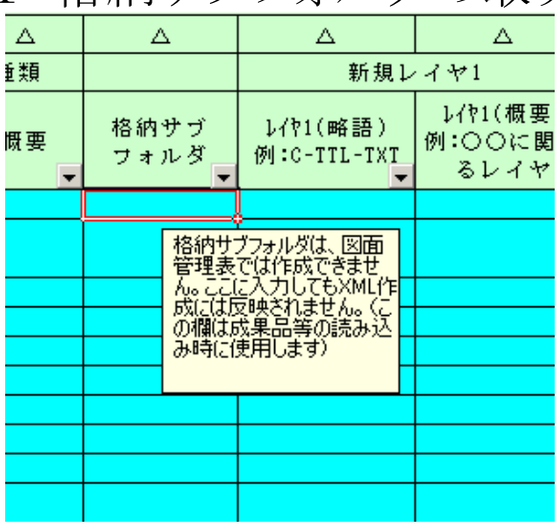
発注図フォルダの作成(設計成果品から読み込み)

必要な図面のみ残る



(3) XML作成エリアの確認を行う

注意1　格納サブフォルダの取り扱いについて



格納サブフォルダはこの図面管理表では発注図フォルダの作成時には使用されませんが、ファイル読み込み時に使用しますので、この段階で何か入力されていたらそのままにして、消さないでください。

注意2　SAF,ラスタファイルの取り扱いについて

CAD製図基準(H20.5版使用時に必要)

①SAFファイルについて

読み込み元にある場合は、図面管理表で自動的に名前を変換する

②ラスタファイルについて

設計成果品等のオリジナルファイル名そのままで記載される。ただしこのままではCAD製図基準どおりの名前にならない。

サンプル工事の場合：

D0PL0011.TIF　×(ライフサイクルD設計のファイル名のまま)

C0PL0011.TIF　○(工事の場合はライフサイクルCが先頭に来る)

CAD製図基準どおりの名前を付けるには、

1)この段階で、XML作成エリアに基準通りの名前を記入する

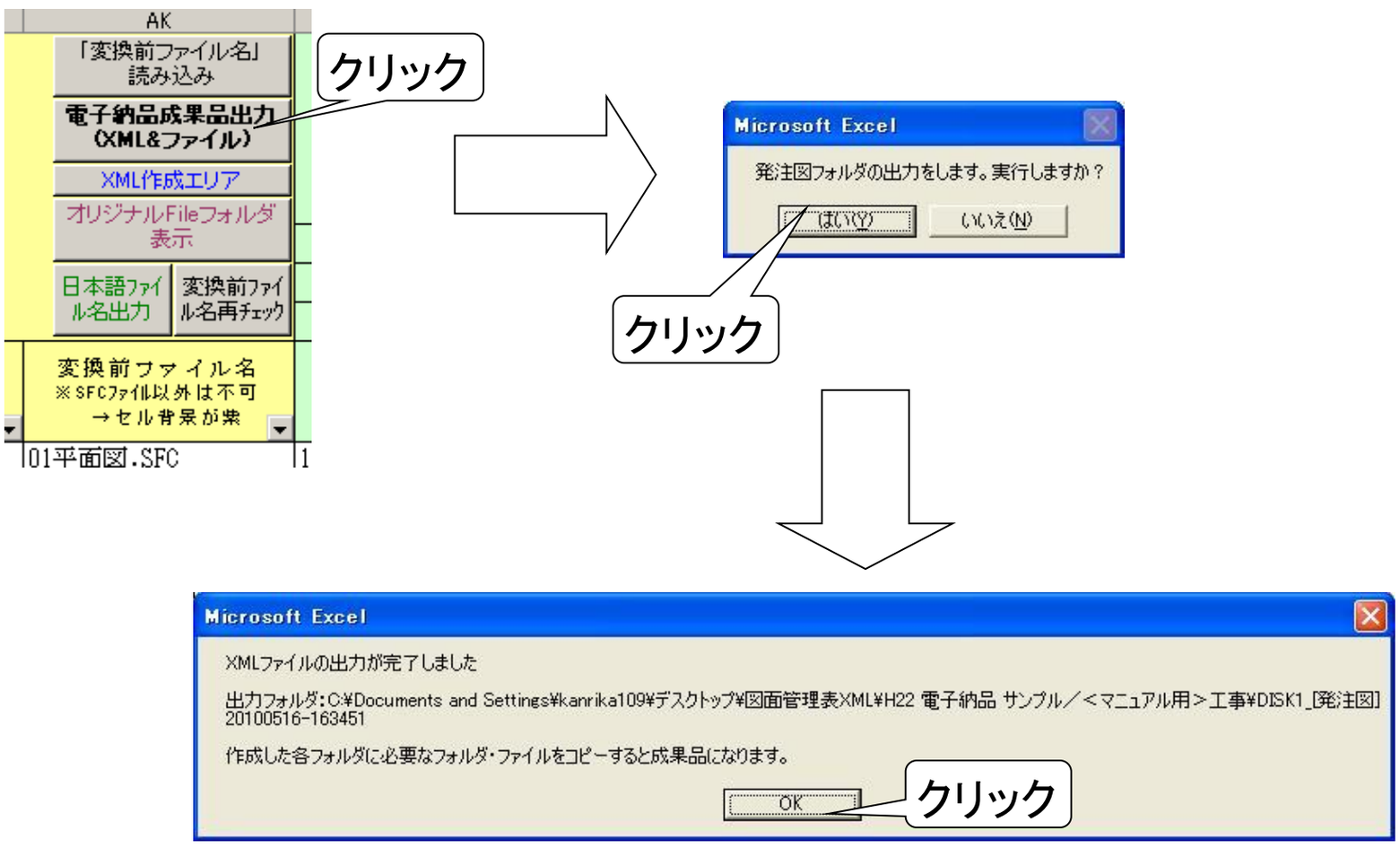
2)発注図フォルダ作成後に、当該ファイルの親ファイルをCADに読み込んで保存し直す。

3)ラスタファイルの名前が付け変わる。(できないCADもあるので注意)

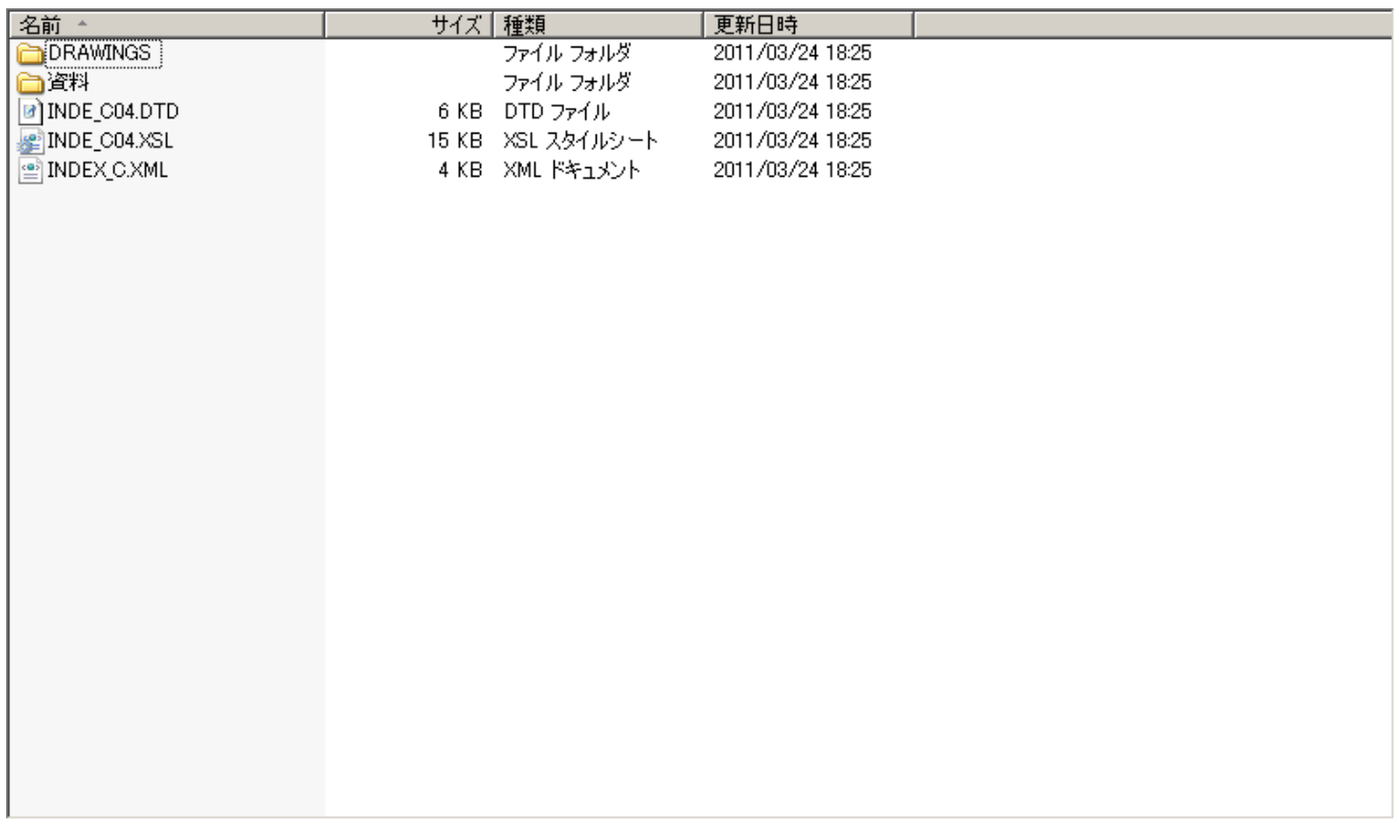
(4)ファイル名のエラーチェック
ボタン[ファイル番号順(ファイル名チェック)]をクリック

2 発注図フォルダの出力

(1) ボタン[電子納品成果品出力(XML&ファイル)]をクリック



(2) XMLが出力された発注図フォルダが表示される

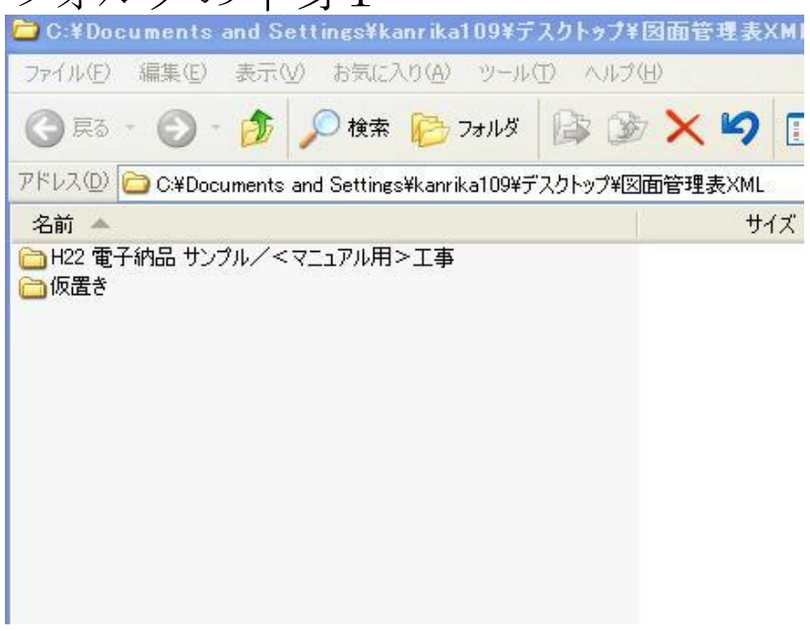


名前	サイズ	種類	更新日時
DRAWINGS		ファイル フォルダ	2011/03/24 18:25
資料		ファイル フォルダ	2011/03/24 18:25
INDE_C04.DTD	6 KB	DTD ファイル	2011/03/24 18:25
INDE_C04.XSL	15 KB	XSL スタイルシート	2011/03/24 18:25
INDEX_C.XML	4 KB	XML ドキュメント	2011/03/24 18:25

(3) 出力されたデータの確認
使用しているパソコンのデスクトップ上に「図面管理表XML」というフォルダが作成される

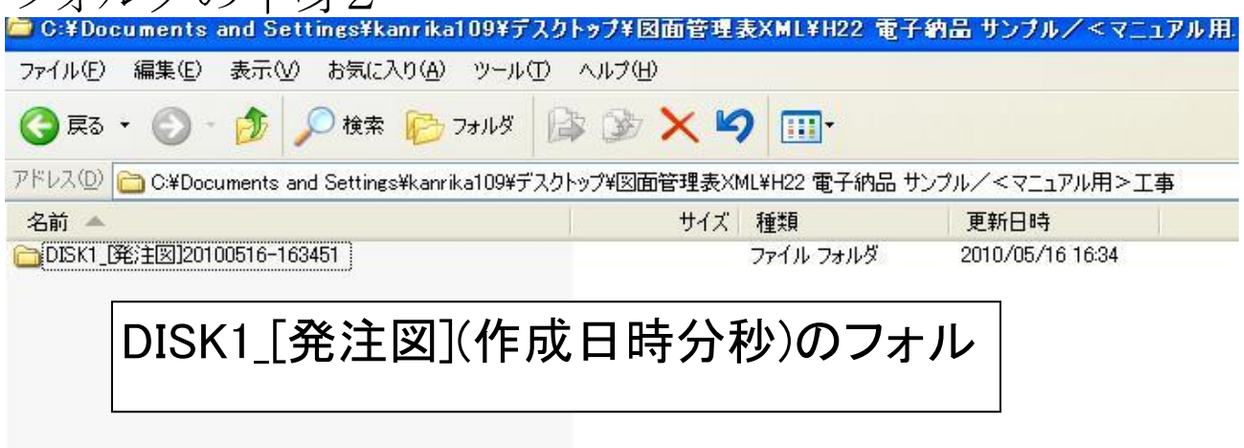
発注図フォルダの作成(設計成果品から読み込み)

フォルダの中身1



当該工事のフォルダが作成済み

フォルダの中身2



(4) 所定のフォルダに図面ファイルがファイル名変換されてコピーされているのを確認

名前	サイズ	種類	更新日時
SPEC		ファイル フォルダ	2011/03/24 18:24
C0CS0040.SFC	125 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0CS0050.SFC	126 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0CS0060.SFC	132 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0070.SFC	29 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0080.SFC	73 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0090.SFC	195 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0100.SFC	256 KB	SFC ファイル	2009/08/28 8:38
C0PF0020.SFC	143 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0PL0010.SFC	6,772 KB	SFC ファイル	2009/08/28 8:38
C0SS0030.SFC	59 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
DRAW03.DTD	4 KB	DTD ファイル	2011/03/24 18:25
DRAW03.XSL	10 KB	XSL スタイルシート	2011/03/24 18:25
DRAWINGS.XML	8 KB	XML ドキュメント	2011/03/24 18:25

(5) 必要なデータのコピー
SPECフォルダ　仕様書、数量調書等のデータをコピー
資料フォルダ　測量データ等　(図面管理表は自動で資料フォルダにコピーされる)

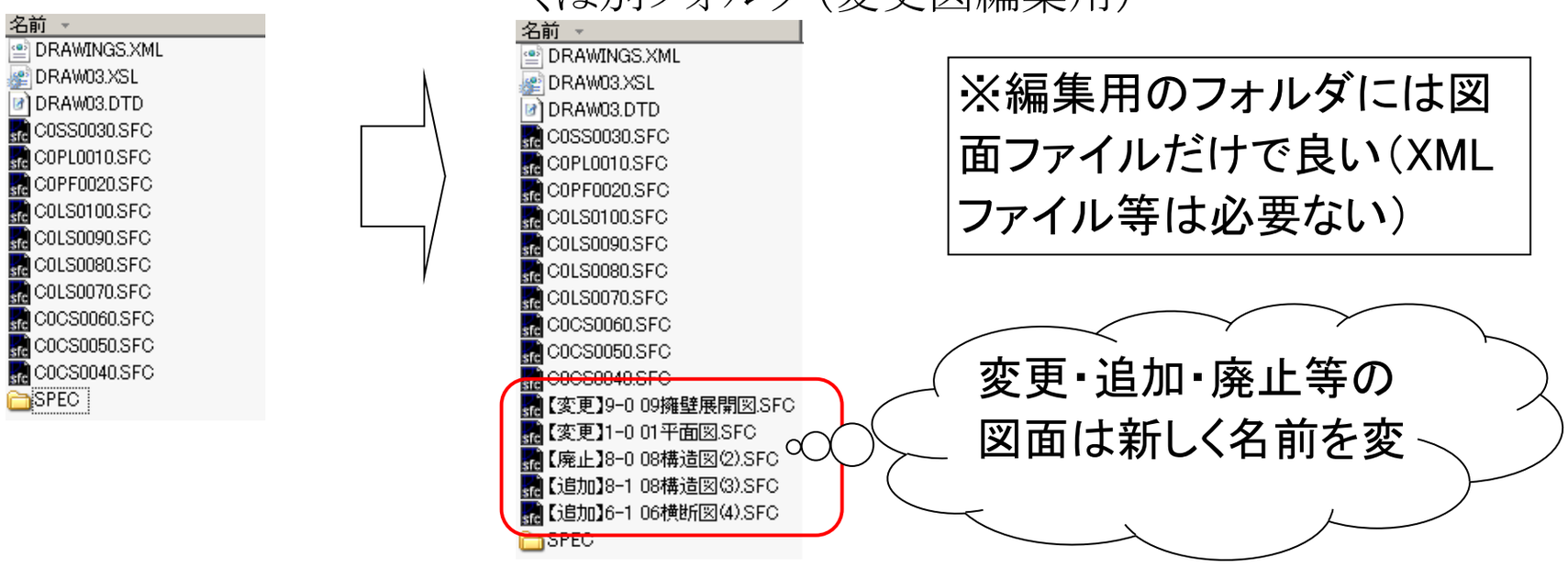
以上で、発注図フォルダの作成は完了です

図面の変更、修正作業は「日本語ファイル名出力」機能を使って書き出した、日本語ファイル名の図面を利用できます

1 変更図用のXMLを作成するにあたっての事前準備

(1) 変更用の図面を準備しておく
※変更・追加等があった図面は日本語名でOK（変更の内容がわかるファイル名にしておくのが好ましい）
※発注図のDRAWINGSフォルダの図面を違うフォルダにコピーしておいて変更のあった図面はファイル名を変えて保存しておく

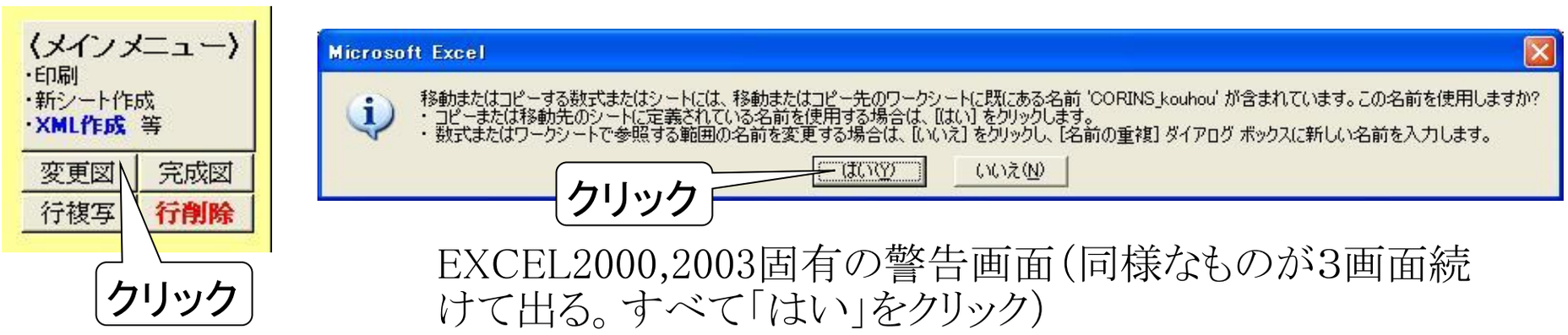
発注図のDRAWINGSフォルダ　　発注図のDRAWINGSフォルダもしくは別フォルダ（変更図編集用）



(2) 工事、図面管理情報に必要なデータの入力　⇨　既に入力済みの場合は不要

2 変更図シートの作成

(1) 変更図を作る元シートのボタン[変更図]をクリック（元シート　第1回変更を作るときは元シートは発注図）

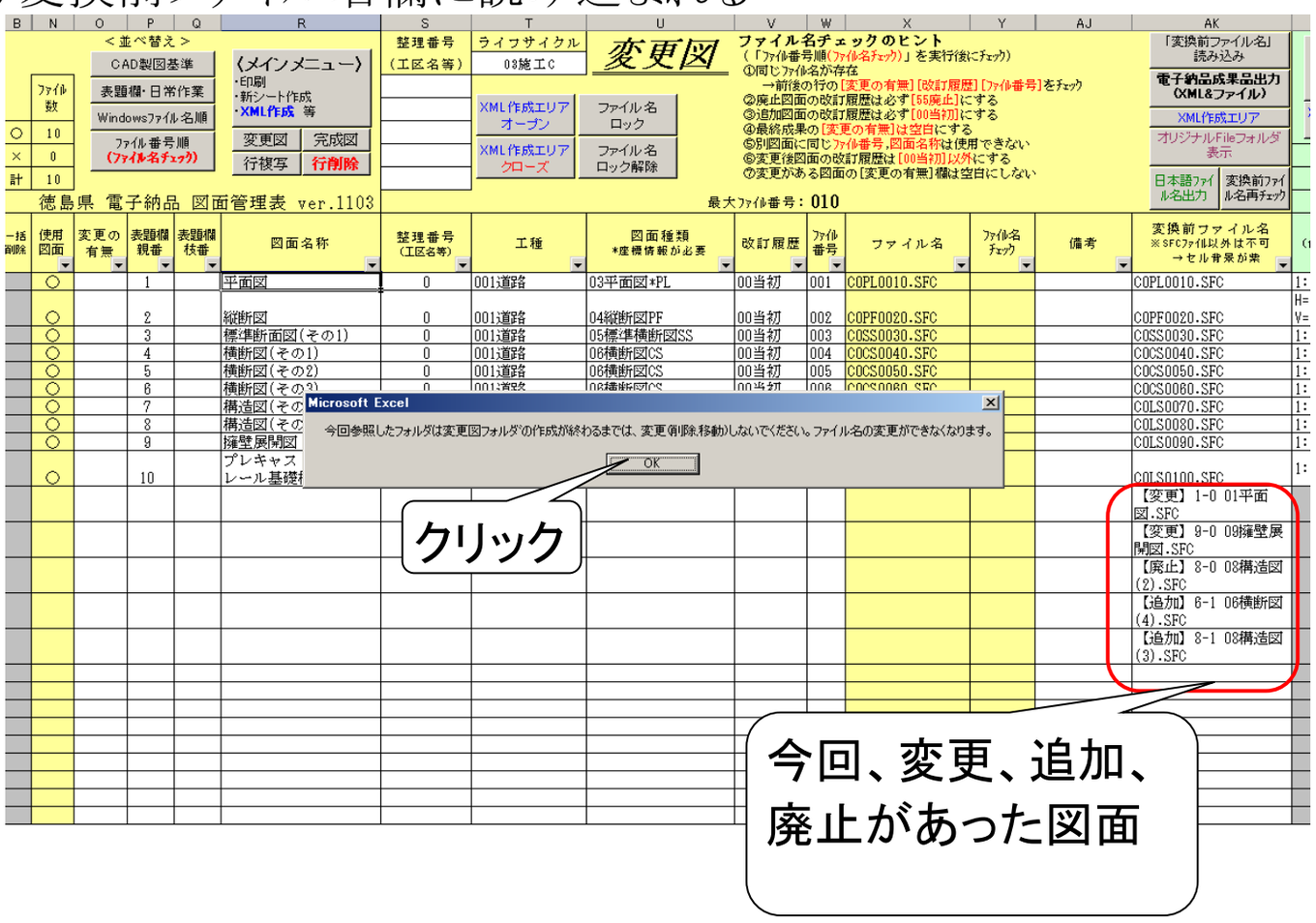


EXCEL2000,2003固有の警告画面（同様なものが3画面続けて出る。すべて「はい」をクリック）

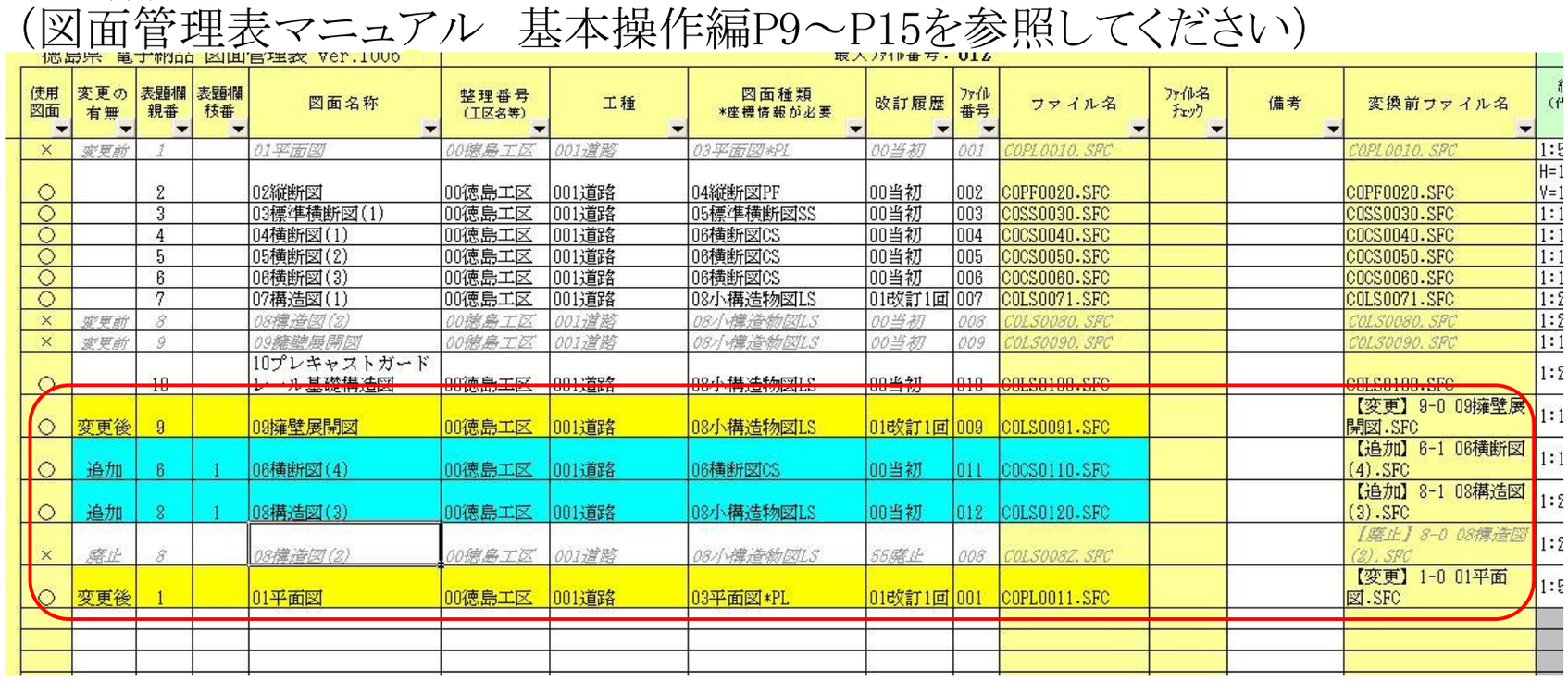
(2) オリジナル図面フォルダの読み込み
※今回は発注図のDRAWINGSフォルダに変更があった図面の日本語名ファイルをコピーしておいたものを読み込んでいます

変更図フォルダの作成

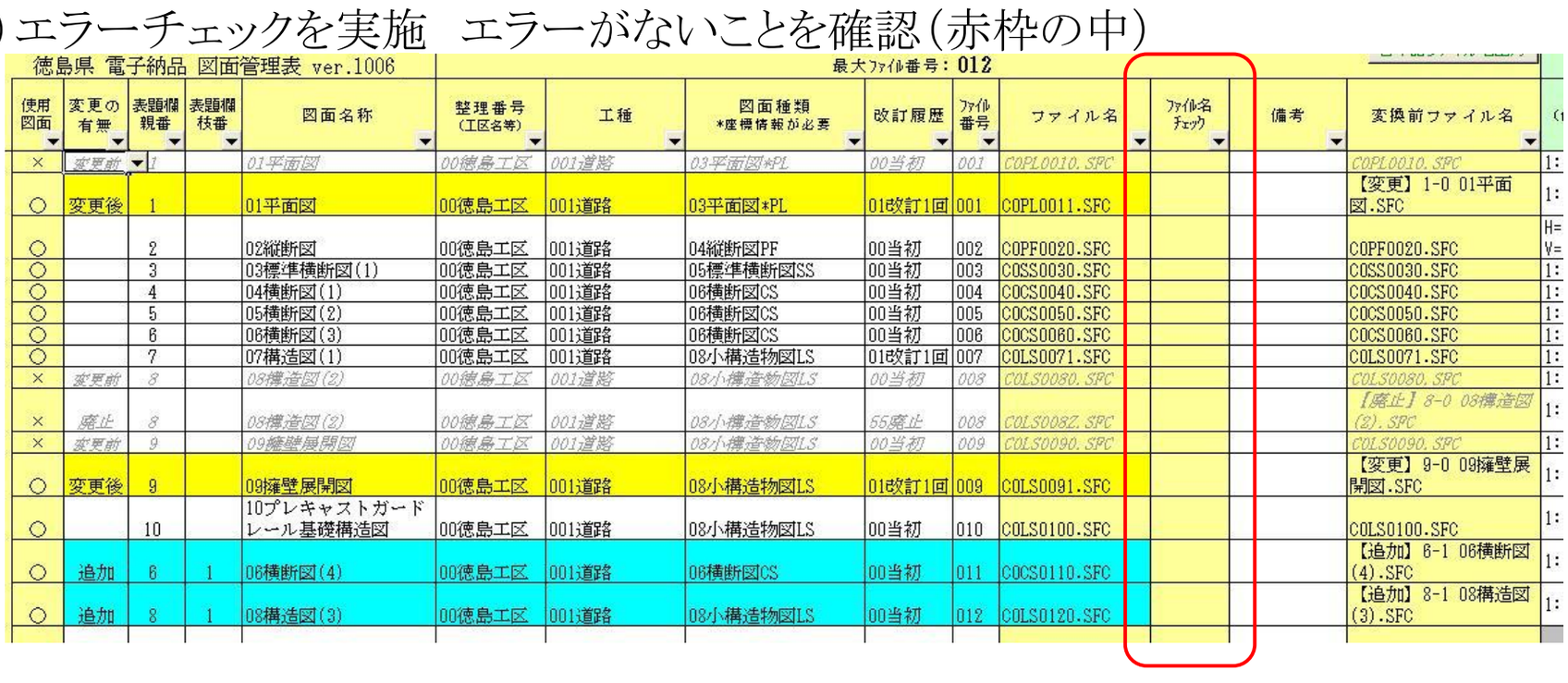
(3) 変換前ファイル名欄に読み込まれる



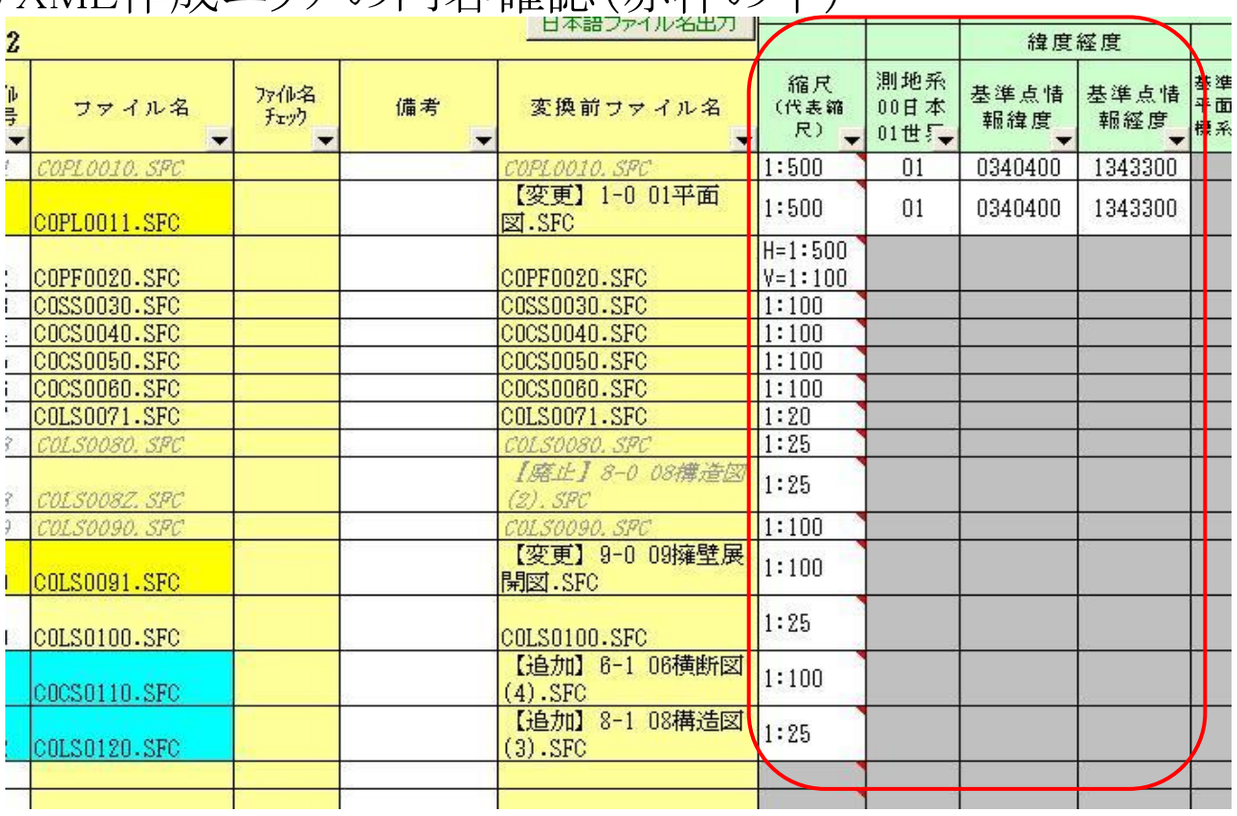
(4) 変換前ファイル名欄の新規作成ファイル名を参考にしてCAD製図基準に準じたファイル名を作成する
（図面管理表マニュアル　基本操作編P9～P15を参照してください）



(5) エラーチェックを実施　エラーがないことを確認（赤枠の中）



(6)XML作成エリアの内容確認(赤枠の中)

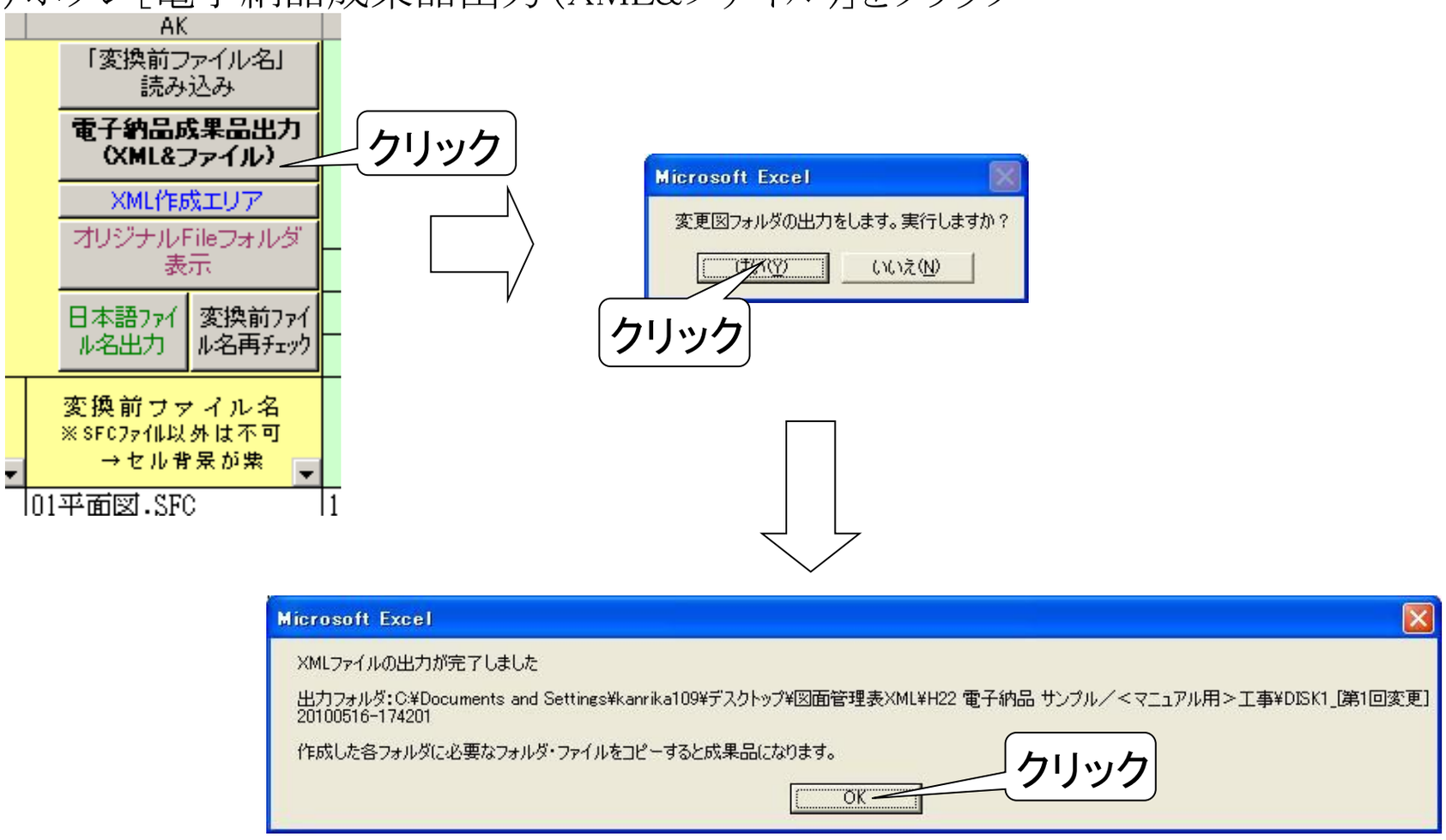


ファイル名	ファイル名チェック	備考	変換前ファイル名	縮尺(代表縮尺)	測地系 00日本 01世界	緯度経度 基準点情報緯度	緯度経度 基準点情報経度	基準平面標系
COPL0010.SFC			COPL0010.SFC	1:500	01	0340400	1343300	
COPL0011.SFC			【変更】1-0 01平面図.SFC	1:500	01	0340400	1343300	
COPF0020.SFC			COPF0020.SFC	H=1:500 V=1:100				
COSS0030.SFC			COSS0030.SFC	1:100				
COCS0040.SFC			COCS0040.SFC	1:100				
COCS0050.SFC			COCS0050.SFC	1:100				
COCS0060.SFC			COCS0060.SFC	1:100				
COLS0071.SFC			COLS0071.SFC	1:20				
COLS0080.SFC			COLS0080.SFC	1:25				
COLS008Z.SFC			【廃止】8-0 08構造図(2).SFC	1:25				
COLS0090.SFC			COLS0090.SFC	1:100				
COLS0091.SFC			【変更】9-0 09擁壁展開図.SFC	1:100				
COLS0100.SFC			COLS0100.SFC	1:25				
COCS0110.SFC			【追加】6-1 06横断図(4).SFC	1:100				
COLS0120.SFC			【追加】8-1 08構造図(3).SFC	1:25				

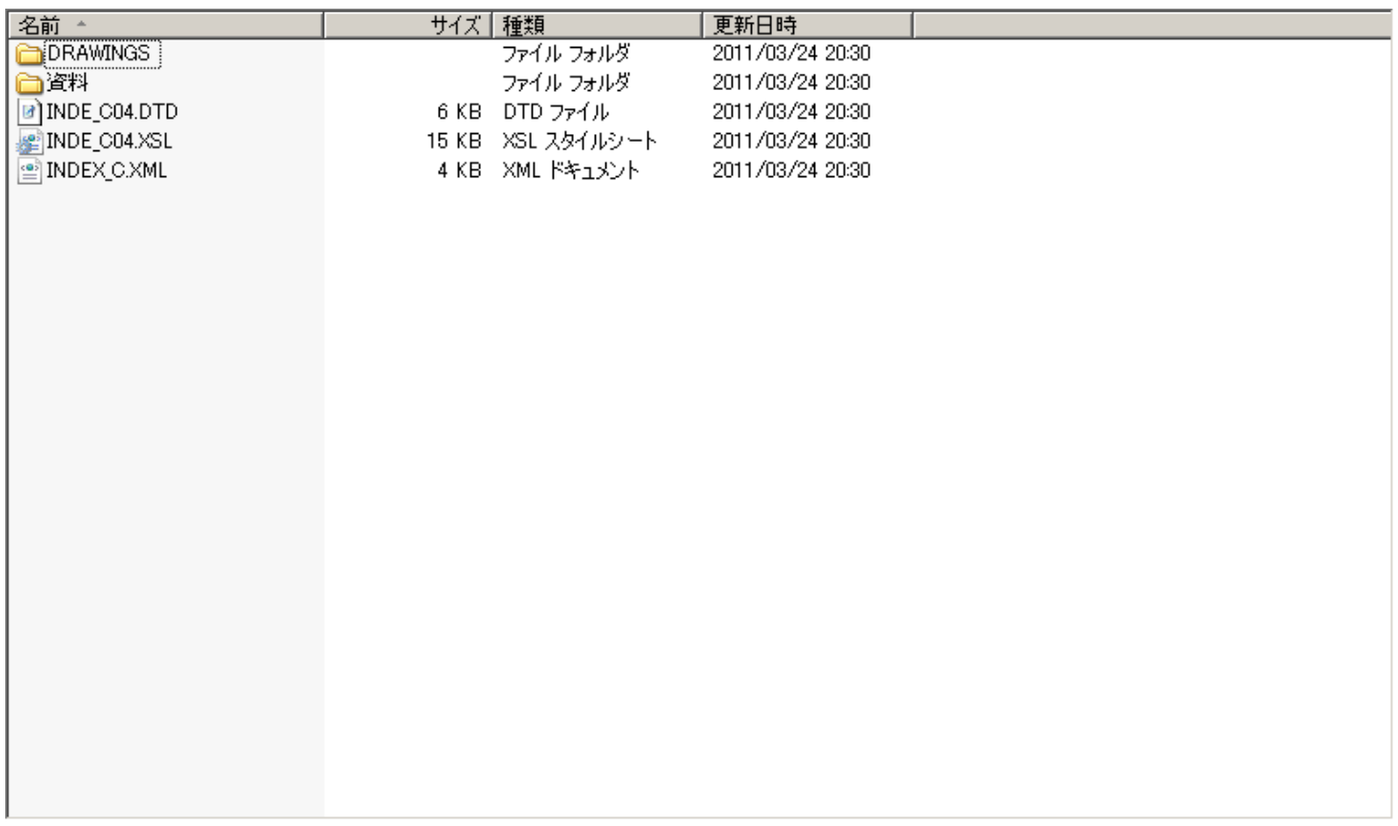
以上で、必要なデータの入力が終わりました。

3 変更図フォルダの作成

(1)ボタン[電子納品成果品出力(XML&ファイル)]をクリック



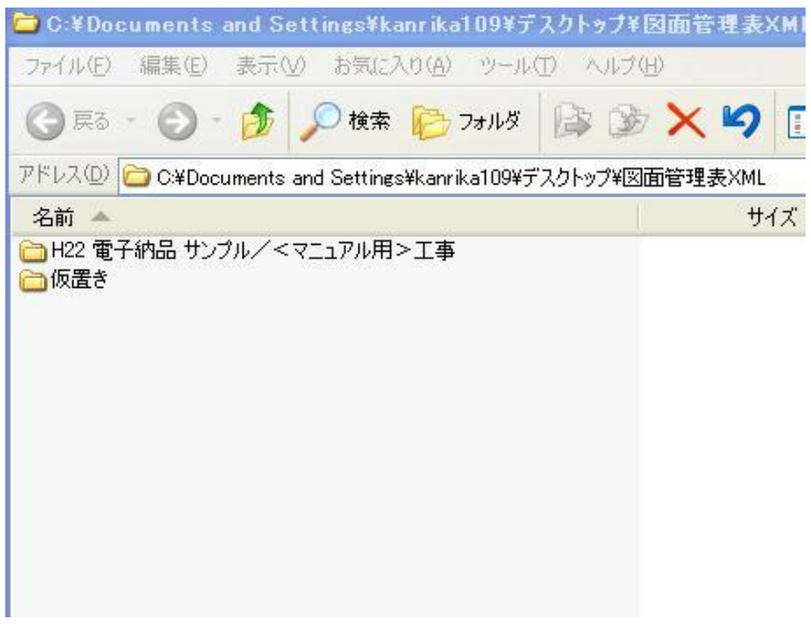
(2) XMLが出力された変更図フォルダが表示される



名前	サイズ	種類	更新日時
DRAWINGS		ファイル フォルダ	2011/03/24 20:30
資料		ファイル フォルダ	2011/03/24 20:30
INDE_C04.DTD	6 KB	DTD ファイル	2011/03/24 20:30
INDE_C04.XSL	15 KB	XSL スタイルシート	2011/03/24 20:30
INDEX_C.XML	4 KB	XML ドキュメント	2011/03/24 20:30

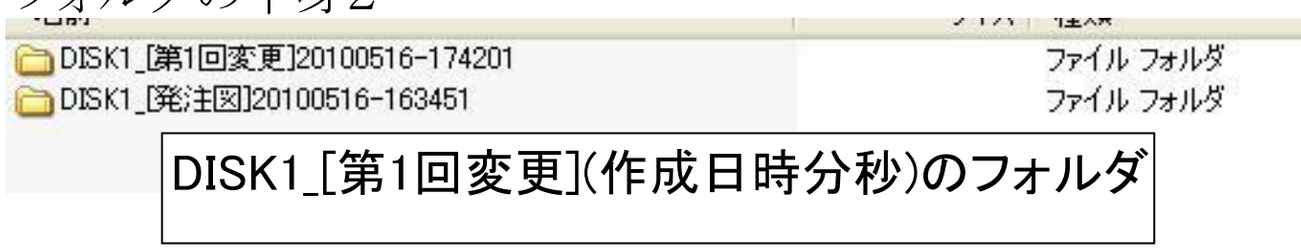
(3) 出力されたデータの確認
使用しているパソコンのデスクトップ上に「図面管理表XML」というフォルダが作成される

所定のフォルダに図面ファイルがファイル名変換されてコピーされているのを確認
フォルダの中身1

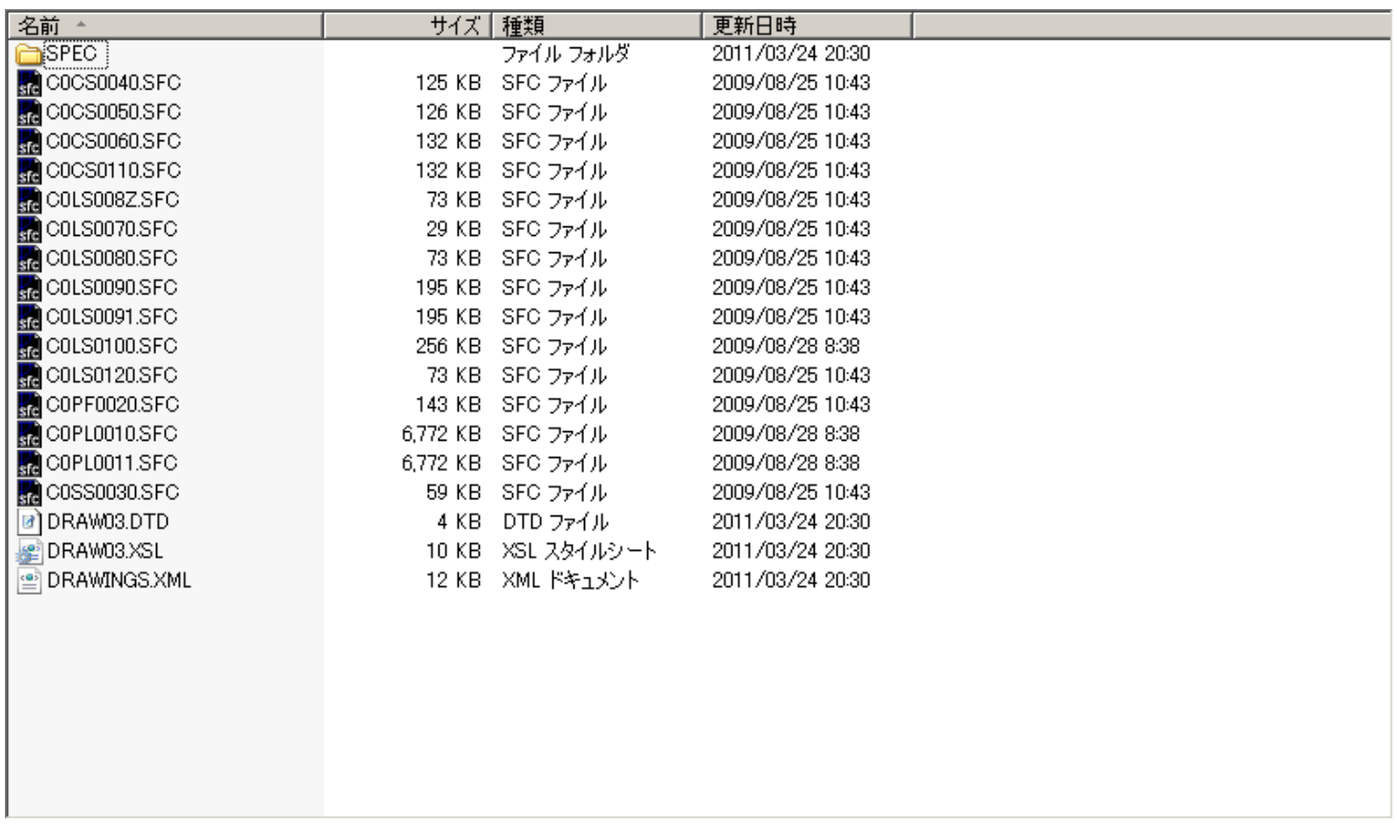


当該工事のフォルダが作成済み

フォルダの中身2



(4) 所定のフォルダに図面ファイルがファイル名変換されてコピーされているのを確認



名前	サイズ	種類	更新日時
SPEC		ファイル フォルダ	2011/03/24 20:30
C0CS0040.SFC	125 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0CS0050.SFC	126 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0CS0060.SFC	132 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0CS0110.SFC	132 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS008Z.SFC	73 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0070.SFC	29 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0080.SFC	73 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0090.SFC	195 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0091.SFC	195 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0LS0100.SFC	256 KB	SFC ファイル	2009/08/28 8:38
C0LS0120.SFC	73 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0PF0020.SFC	143 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
C0PL0010.SFC	6,772 KB	SFC ファイル	2009/08/28 8:38
C0PL0011.SFC	6,772 KB	SFC ファイル	2009/08/28 8:38
C0SS0030.SFC	59 KB	SFC ファイル	2009/08/25 10:43
DRAW03.DTD	4 KB	DTD ファイル	2011/03/24 20:30
DRAW03.XSL	10 KB	XSL スタイルシート	2011/03/24 20:30
DRAWINGS.XML	12 KB	XML ドキュメント	2011/03/24 20:30

(5) 必要なデータのコピー
SPECフォルダ　仕様書、数量調書等のデータをコピー
資料フォルダ　測量データ等　(図面管理表は自動で資料フォルダにコピーされる)

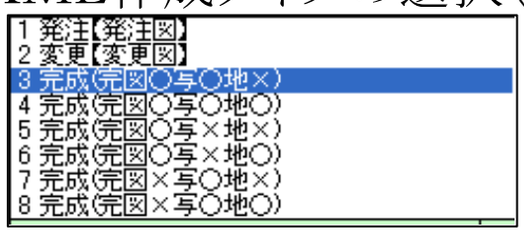
以上で、変更図フォルダの作成は完了です

図面の変更、修正作業は「日本語ファイル名出力」機能を使って書き出した、
日本語ファイル名の図面を利用できます

1 完成図用のXMLを作成するにあたっての事前準備

(1) [工事管理情報]に発注者として必要なデータを入力

XML作成タイプの選択(3～8を選択)



XML作成パターン名別作成フォルダ

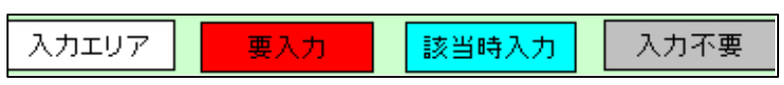
XML作成パターン名	作成されるフォルダ名						備考
	発注図 (DRAWINGS)	完成図 (DRAWINGF)	写真 (PHOTO)	地質 (BORING)	打合せ簿	資料	
1 発注【発注図】	○	×	×	×	○※	○※	
2 変更【変更図】	○	×	×	×	○※	○※	
3 完成(完図○写○地×)	○	○	○※	×	○※	○※	
4 完成(完図○写○地○)	○	○	○※	○※	○※	○※	
5 完成(完図○写×地×)	○	○	×	×	○※	○※	
6 完成(完図○写×地○)	○	○	×	○※	○※	○※	
7 完成(完図×写○地×)	○	×	○※	×	○※	○※	発注・変更図はあるが図面納品をしない場合
8 完成(完図×写○地○)	○	×	○※	○※	○※	○※	発注・変更図はあるが図面納品をしない場合

※作成されたフォルダにファイルは自動転送されない(手動でコピーする必要有り)

△　その他オリジナルフォルダ情報
◎　CORINS登録工事の有無
○　工事実績システムバージョン番号
○　工事実績システム登録番号
○　工事分野
○　工事業種
○　工種
○　工法形式
○　住所コード
◎　住所
◎　工期
◎　工事内容
◎　測地系
◎　対象水系路線名
◎　境界座標情報
△　施設情報
◎　発注者情報
◎　請負者情報

◎:必須　○:必須(CORINS登録工事の場合)　△:該当ある場合

F	G	H	I	J	K	L
記入内容	記入例	入力者 発注者	入力者 受注者	未入力のデータがあります(赤色のセル)	◎必須 △該当時	記入check ×
成図を入力する を入力される	発注図	○	○	3 完成(完成図○ 写真○ 地質×)	◎	
		－	○		△	
どうかによって○×を記	○	－	○		◎	要入力
	2009	○	－	2010	◎	
14桁の数字)を記入す	68***4201500**	○	－	12345678901234	◎	
る場合に記入する 場合については無記入と	6.0	－	○		◎	要入力
る場合に記入する 場合については無記入と	12345678901	－	○		◎	要入力
場合については無記入と 分野」に従って記入す	道路	－	○		◎	要入力
場合については無記入と 業種」に従って記入す	土木一式工事	－	○		◎	要入力
場合については無記入と	落石防止工事	－	①		◎	要入力
工法・型式」の「工種」			②		△	
			③		△	
場合については無記入と	落石防止工	－	①		◎	要入力
工法・型式」の「工法・ 。(複数記入可)			②		△	
			③		△	
場合については無記入と			①		◎	要入力
ードをCORINSの表より選						

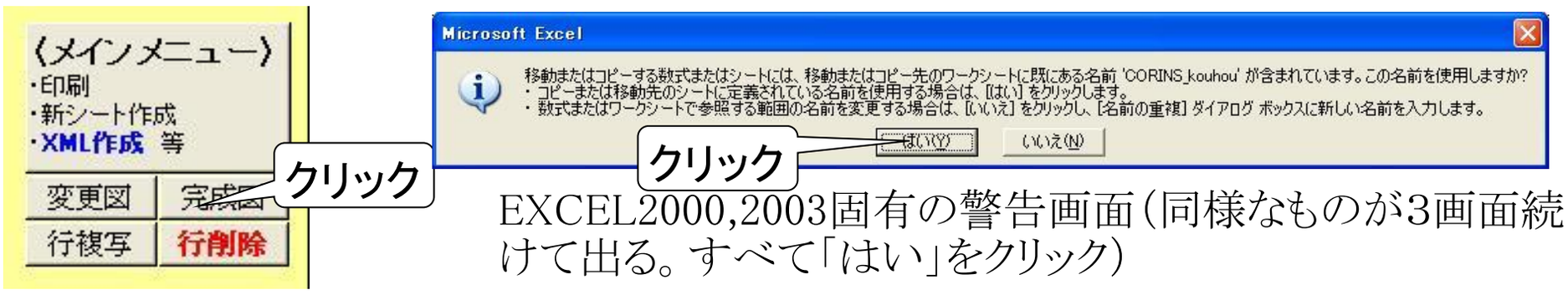


(2) [図面管理情報]に発注者として必要なデータを入力
対象工種(数値)
図面ファイル作成ソフト(発注者)

記入例	未入力のデータがあります（赤色のセル）	このシートでの入力項目	×	
		△		該当があ
		△		
		△		
		△		
		△		
		△		
平面図	図面管理表で入力	－		XMLを作
PL0010.SFC	図面管理表で入力	－		管理表の 面
徳島県	自動入力	－		工事管理
CAD Ver.1.00	徳島県CAD			手入力
CAD Ver.1.00		◎	要入力	
1:100	図面管理表で入力	－		
1	図面管理表で入力	－		
015	図面管理表で入力	－		
	図面管理表で入力	－		
	図面管理表で入力	－		

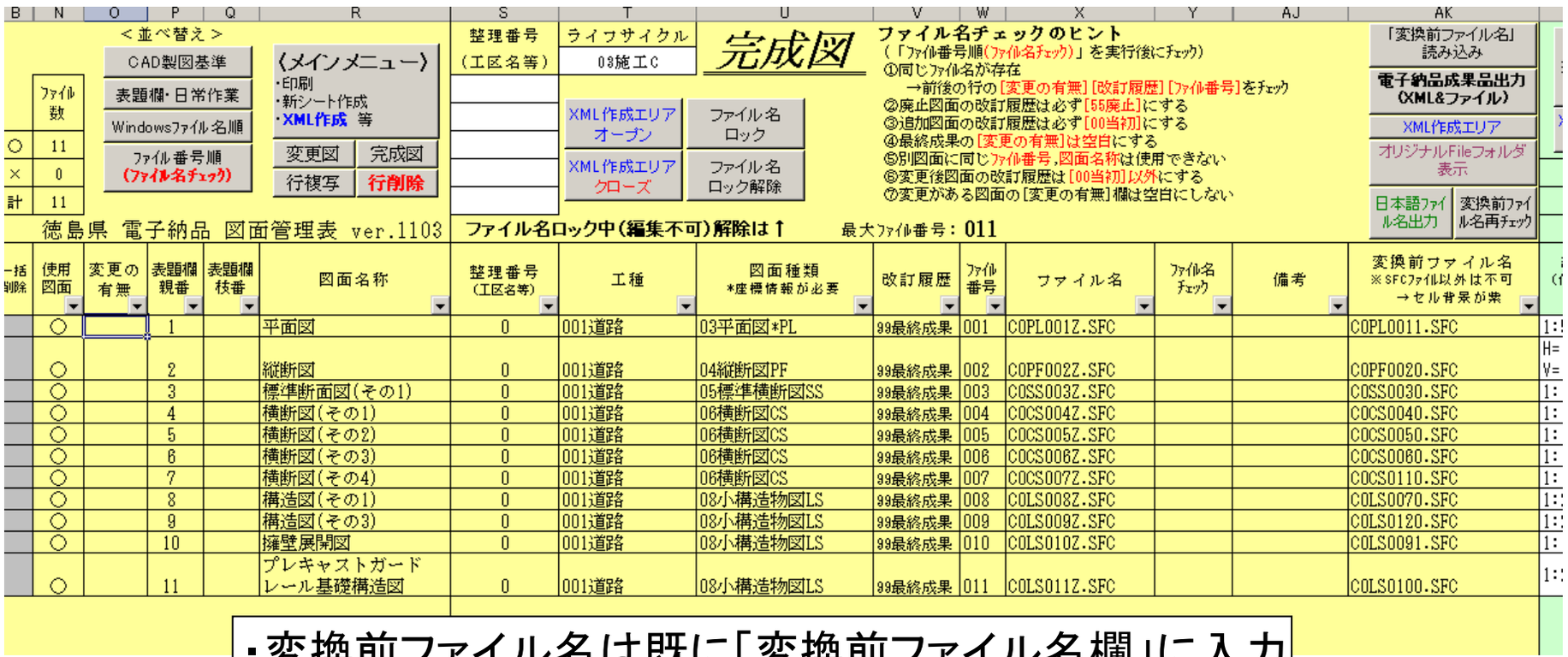
2 完成図シートの作成

(1) 完成図を作る元シートのボタン[完成図]をクリック(元シート　最終変更図シート)



EXCEL2000,2003固有の警告画面(同様なものが3画面続けて出る。すべて「はい」をクリック)

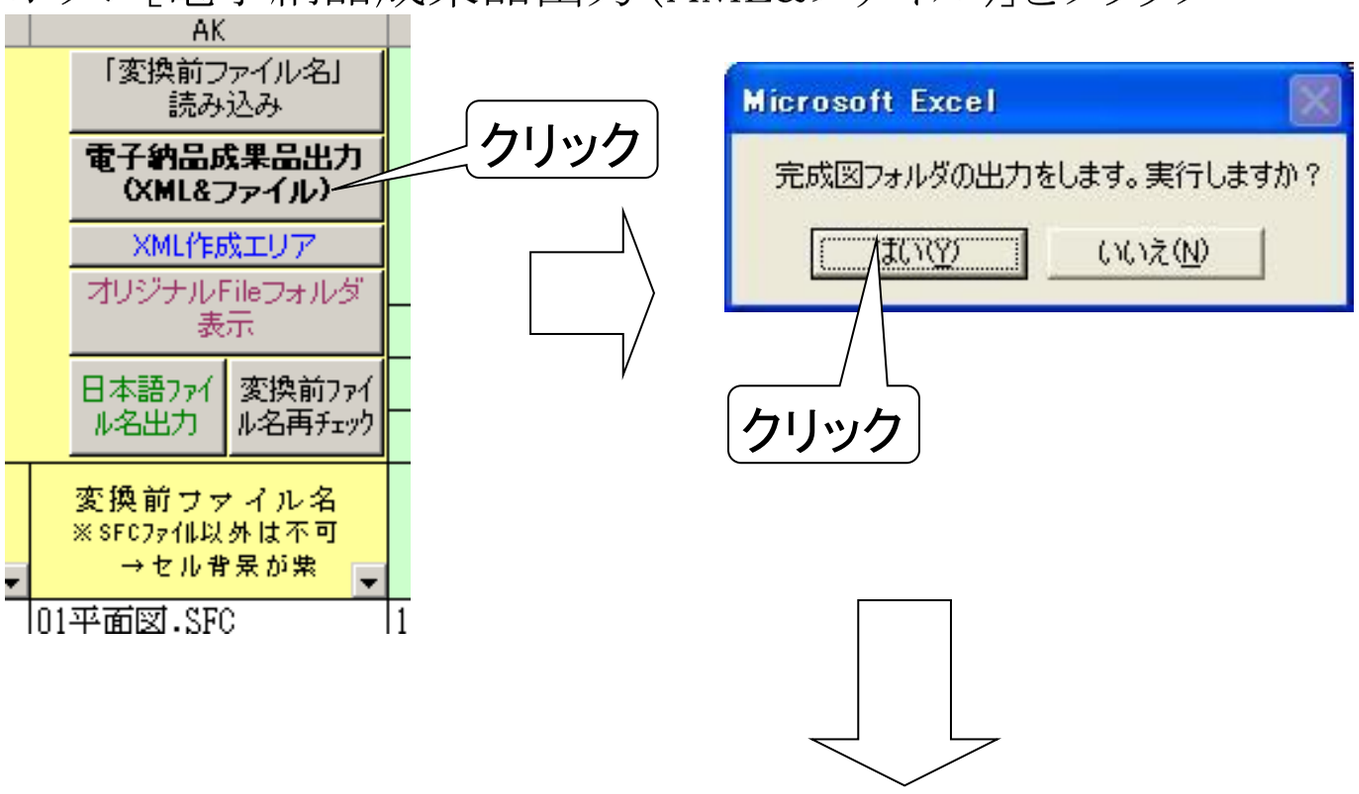
新しく変更図用のシートが作成される



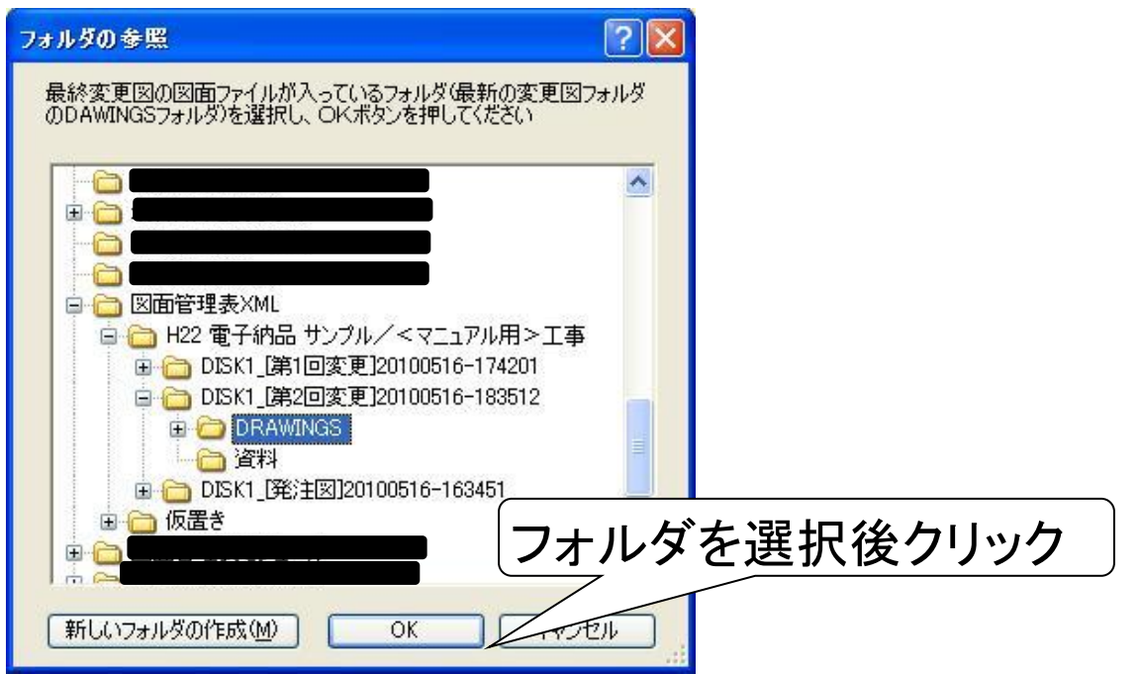
・変換前ファイル名は既に「変換前ファイル名欄」に入力されている
・ファイル名はロックされた状態になっている
・ファイル名は既に完成図用に変更済み

3 完成図フォルダの作成

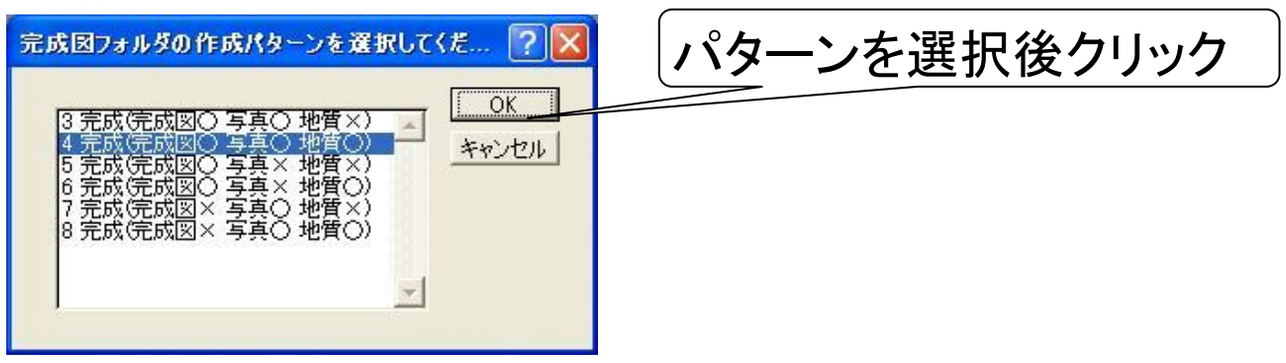
(1) ボタン[電子納品成果品出力(XML&ファイル)]をクリック



(2) 最終変更図のDRAWINGSフォルダを選択



(3) XML作成パターンを選択



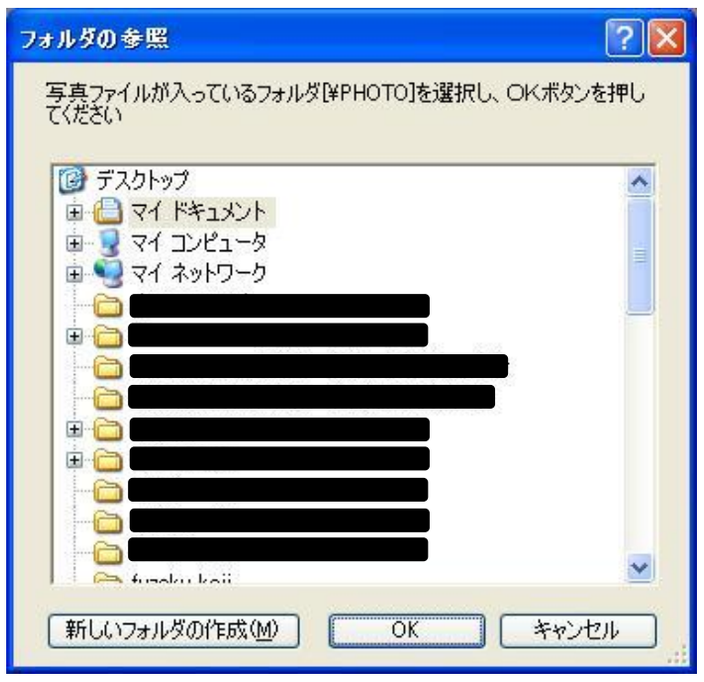
XML作成パターン名別作成フォルダ

XML作成パターン名	作成されるフォルダ名						備考
	発注図 (DRAWINGS)	完成図 (DRAWINGF)	写真 (PHOTO)	地質 (BORING)	打合せ簿	資料	
1 発注【発注図】	○	×	×	×	○	○	完成図作成では選べない
2 変更【変更図】	○	×	×	×	○	○	完成図作成では選べない
3 完成(完成図○ 写真○ 地質×)	○	○	○	×	○	○	
4 完成(完成図○ 写真○ 地質○)	○	○	○	○	○	○	
5 完成(完成図○ 写真× 地質×)	○	○	×	×	○	○	
6 完成(完成図○ 写真× 地質○)	○	○	×	○	○	○	
7 完成(完成図× 写真○ 地質×)	○	×	○	×	○	○	発注・変更図はあるが図面納品をしない場合
8 完成(完成図× 写真○ 地質○)	○	×	○	○	○	○	発注・変更図はあるが図面納品をしない場合

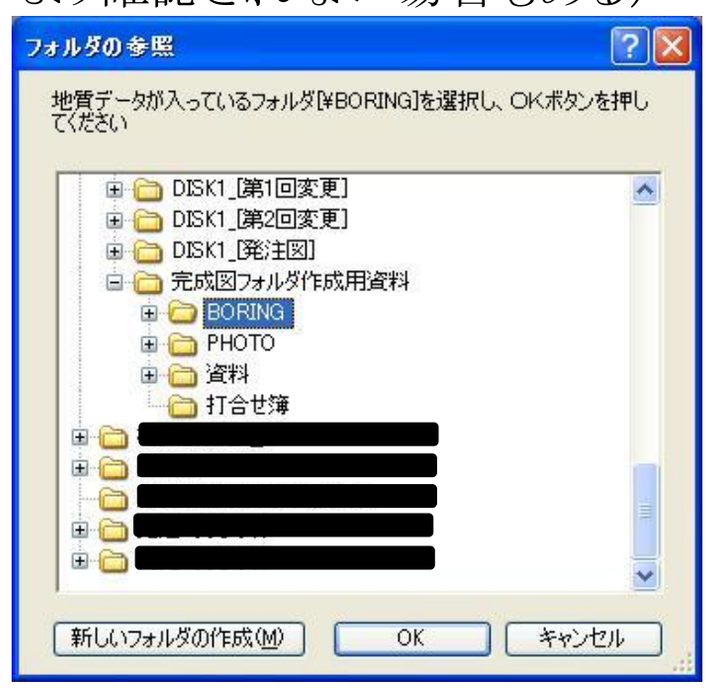
完成図フォルダの作成

(4) 各フォルダへのデータのコピーを確認する(それぞれキャンセル可)

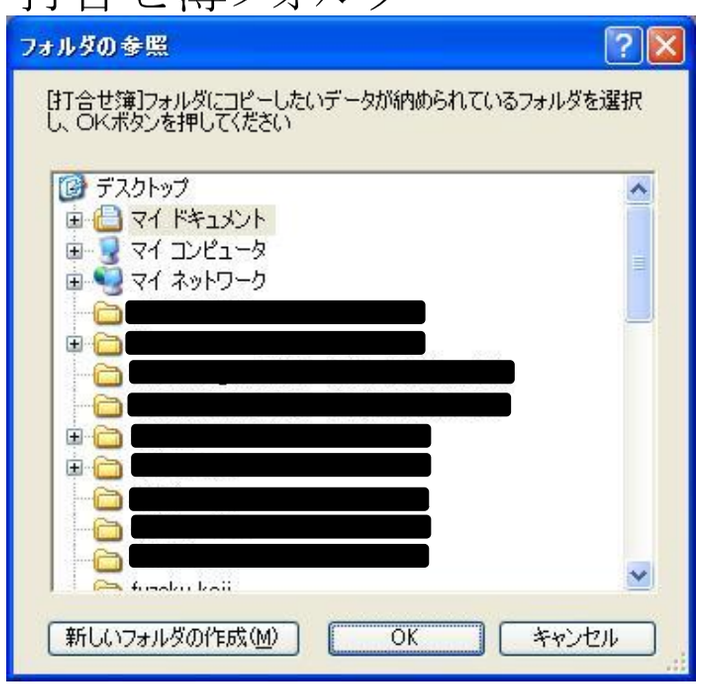
① PHOTOフォルダ(作成パターンにより確認されない場合もある)



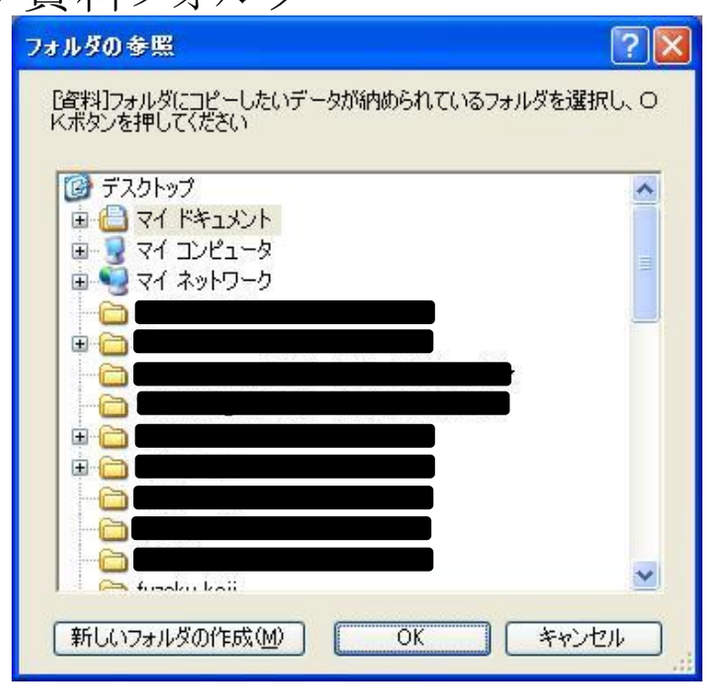
② BORINGフォルダ(作成パターンにより確認されない場合もある)



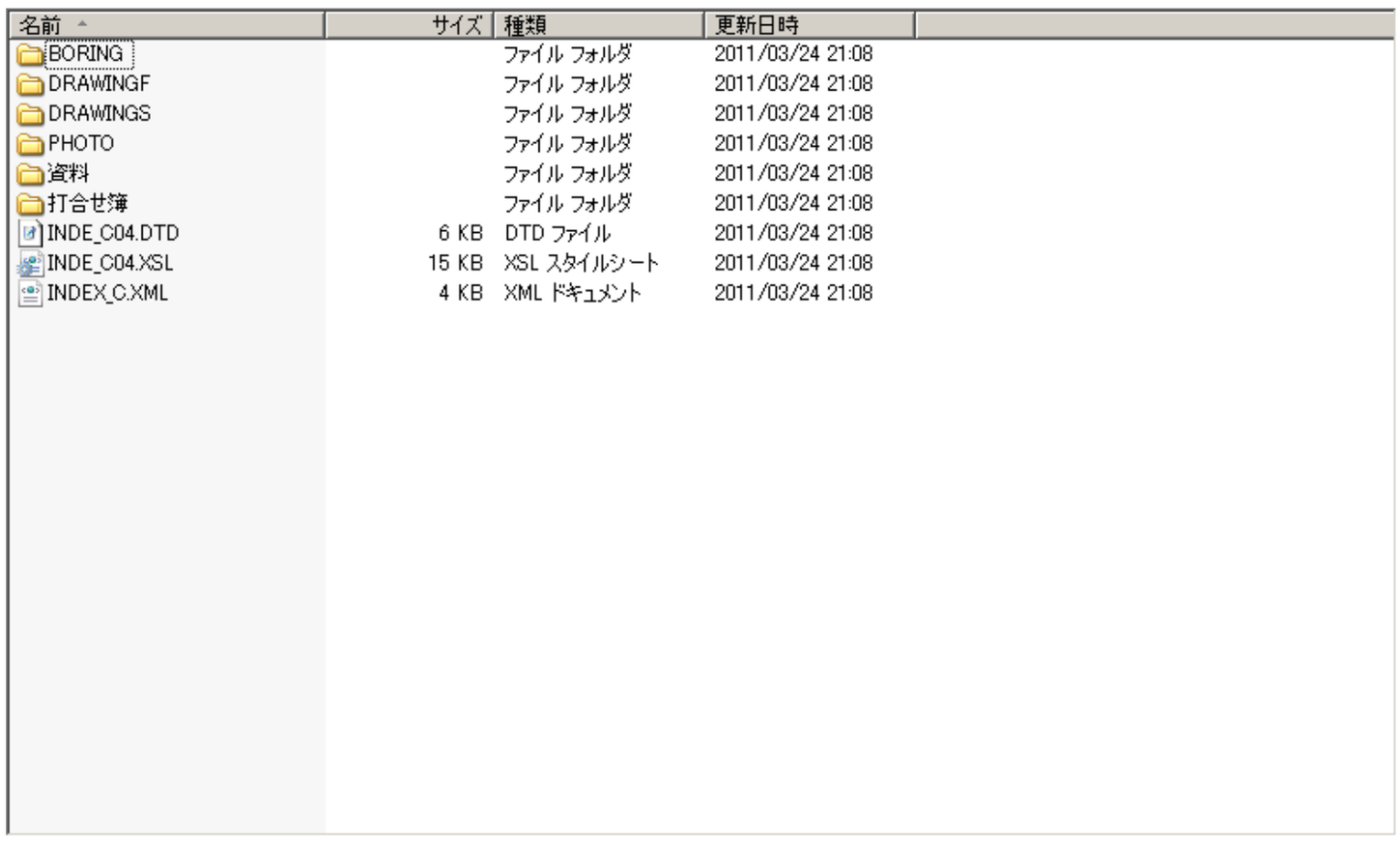
③ 打合せ簿フォルダ



④ 資料フォルダ



(5) 完成図フォルダの確認



名前	サイズ	種類	更新日時
BORING		ファイル フォルダ	2011/03/24 21:08
DRAWINGF		ファイル フォルダ	2011/03/24 21:08
DRAWINGS		ファイル フォルダ	2011/03/24 21:08
PHOTO		ファイル フォルダ	2011/03/24 21:08
資料		ファイル フォルダ	2011/03/24 21:08
打合せ簿		ファイル フォルダ	2011/03/24 21:08
INDE_C04.DTD	6 KB	DTD ファイル	2011/03/24 21:08
INDE_C04.XSL	15 KB	XSL スタイルシート	2011/03/24 21:08
INDEX_C.XML	4 KB	XML ドキュメント	2011/03/24 21:08

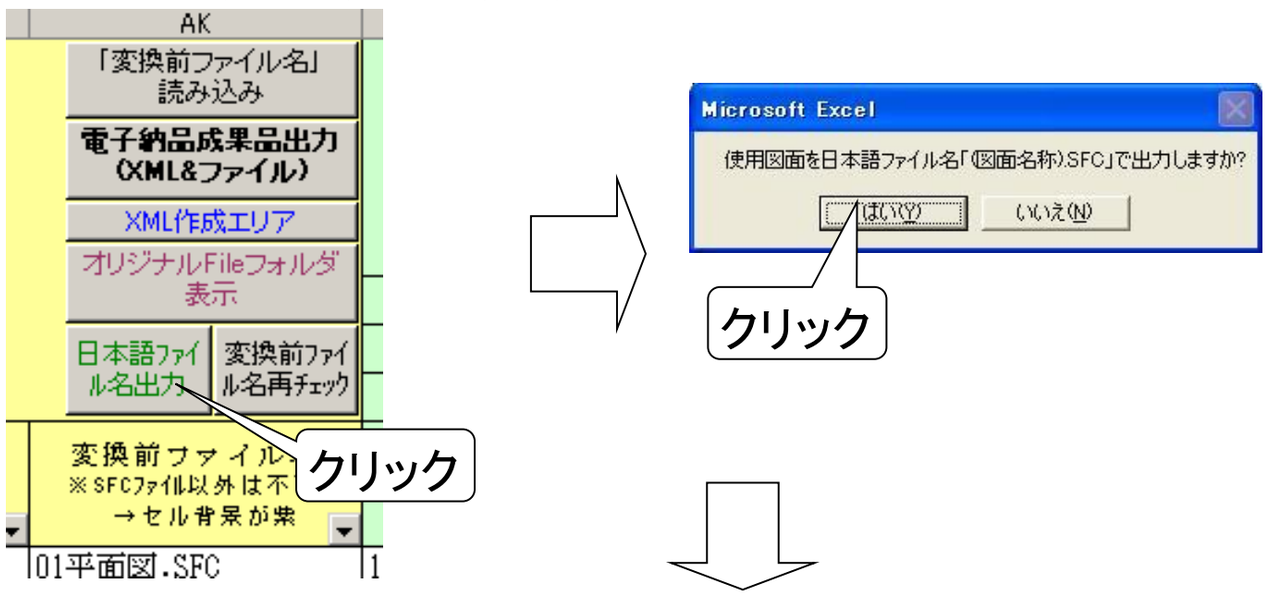
(6) それぞれのフォルダに所定のファイルが格納されているかどうかの確認
足りないファイルは自分でコピー

以上で、完成図フォルダの作成は完了です

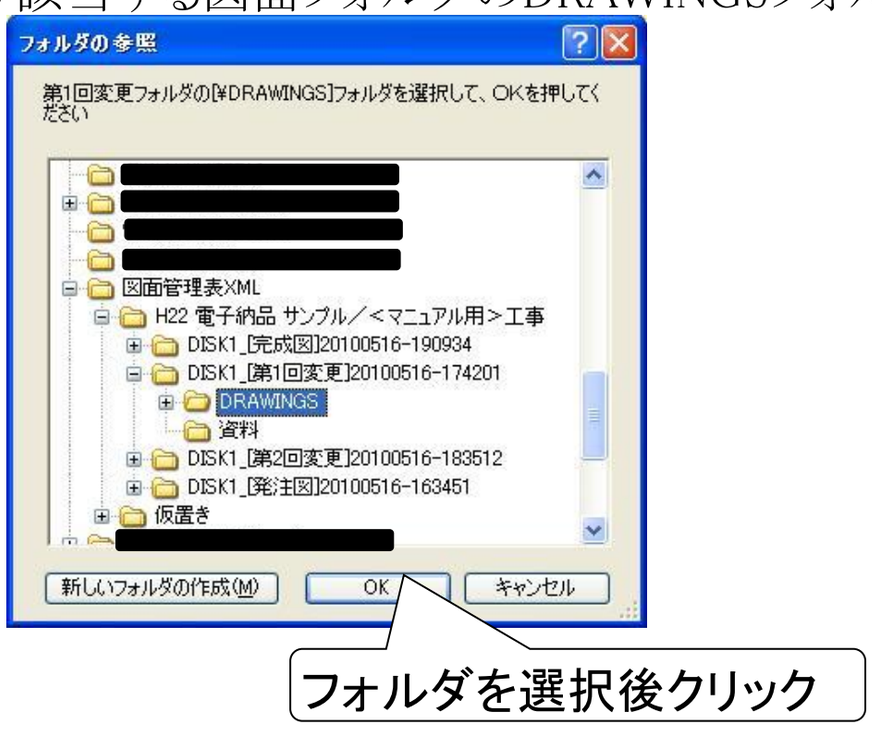
図面の訂正等※ある場合は、「日本語ファイル名出力」機能を使って図面の修正を行い、再度チェッカーでチェック後提出してください
※最終変更図の変更前ラインを消して、完成図にする場合等

1 発注、変更、完成図フォルダの図面ファイルの英数字を日本語名に変換したファイルを新たに作成(日本語ファイル名で作業をしたい場合に利用する機能)

(1)ボタン[日本語ファイル名出力]をクリック



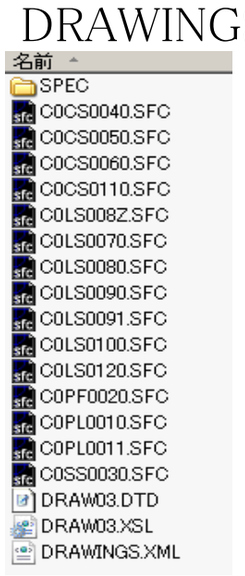
(2)該当する図面フォルダのDRAWINGSフォルダを選択(例では第1回変更)



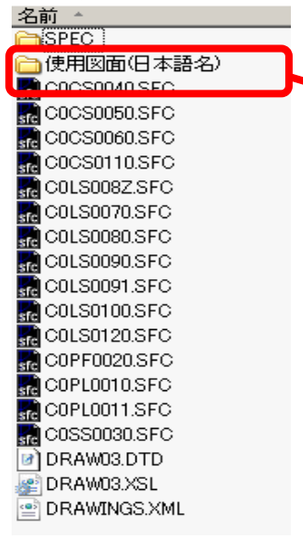
※使用図面だけが対象となる(変更前、廃止図面は使用しないので出力されない)

使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号(工区名等)	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名	ファイル名チェック
○	変更後	1		01平面図	00徳島工区	001道路	03平面図*PL	01改訂1回	001	C0PL0011.SFC	
○		2		02縦断図	00徳島工区	001道路	04縦断図PF	00当初	002	C0PF0020.SFC	
○		3		03標準横断図(1)	00徳島工区	001道路	05標準横断図SS	00当初	003	C0SS0030.SFC	
○		4		04横断図(1)	00徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	004	C0CS0040.SFC	
○		5		05横断図(2)	00徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	005	C0CS0050.SFC	
○		6		06横断図(3)	00徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	006	C0CS0060.SFC	
○	追加	6	1	06横断図(4)	00徳島工区	001道路	06横断図CS	00当初	011	C0CS0110.SFC	
○		7		07構造図(1)	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	01改訂1回	007	C0LS0071.SFC	
○	追加	8	1	08構造図(3)	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	012	C0LS0120.SFC	
○	変更後	9		09擁壁展開図	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	01改訂1回	009	C0LS0091.SFC	
○		10		10プレキャストガードレール基礎構造図	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	010	C0LS0100.SFC	
×	変更前	1		01平面図	00徳島工区	001道路	03平面図*PL	00当初	001	C0PL0010.SFC	
×	変更前	8		08構造図(2)	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	008	C0LS0080.SFC	
×	廃止	8		08構造図(2)	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	55廃止	008	C0LS008Z.SFC	
×	変更前	9		09擁壁展開図	00徳島工区	001道路	08小構造物図LS	00当初	009	C0LS0090.SFC	

日本語ファイル作成前のDRAWINGS



日本語ファイル作成後のDRAWINGS



2 作成された日本語名のファイルを使っての作業(発注図・変更図)

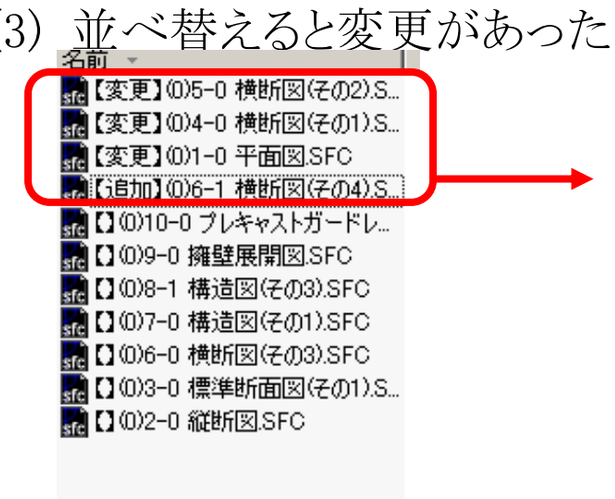
(1) 出力されたファイルは使用図面だけです(変更前、廃止図面は出力されません)

(2) 変更や、追加があった場合は、【】の中に内容を記載する

記載例
【変更】変更があった図面は、同じファイルで名前を変えて保存する
【追加】追加図面は、新しく作成したSFCファイルに左記の記入例に準じた日本語名で保存する(枝番も)
【廃止】廃止する図面を同じ内容で【変更前】、【廃止】2つの図面を作成する

例:【】8-0 08構造図(2).SFC
→ 【変更前】8-0 08構造図(2).SFC　　ファイル名変更
→ 【廃止】8-0 08構造図(2).SFC　　ファイルコピー後名前変更

(3) 並べ替えると変更があった図面が上に並ぶ



この変更があった図面だけを日本語名のまま、発注者側に提出することも可能です。
(条件)
・追加図面の場合は、枝番までわかるようにしておくこと
・監督員に事前に了解を貰っておくこと
・チェッカーでエラーがあった場合は再提出

3 作成された日本語名のファイルを使っての作業(完成図)

(1) 完成図は、以下のような名前で新しく作成される

完成図で行う編集作業とは. . .
　図面管理表では、最終変更図の名前を変えて完成図フォルダに出力するため、見かけ上の名前は変わっても、実際ファイルの中身は変わっていません。
　したがって、土木工事等で、最終変更図に変更前の地盤線が書き込まれるなどされて、 最終変更図≠完成図
　となる場合に図面管理表で作成された完成図をもう一度編集し直す必要があります。

※農業土木の場合は、最終変更図の使用図面　＝　完成

例:　【完成図】(0)4-0 04横断図(1)_C0CS004Z.SFCの変更前地盤線を消す、表題欄番号をファイル番号に合わせる　完成図への作業完了

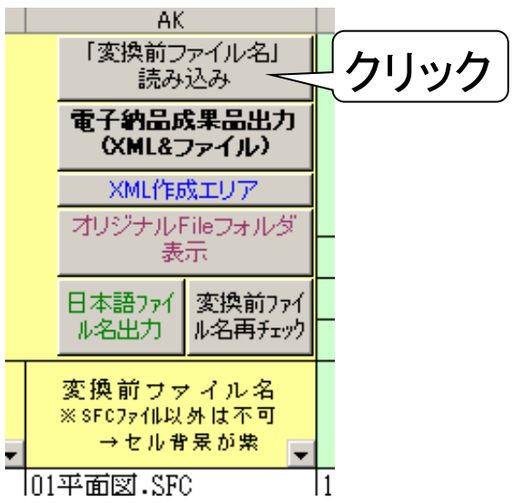
↓ファイル名の変更(ファイル名の前の部分を「名前の変更」で消す)
C0CS004Z.SFC　　作業完了　→　もとのDRAWINGFフォルダへ上書きコピー

1 移植準備

移植先の図面管理表(1003)を開き当該シート(発注図、変更図)を選択
移植元の図面管理表(0911,1006,1103)を開き対象シートを選択
※両方の選択シートが同種類でなければ移植機能は働かない

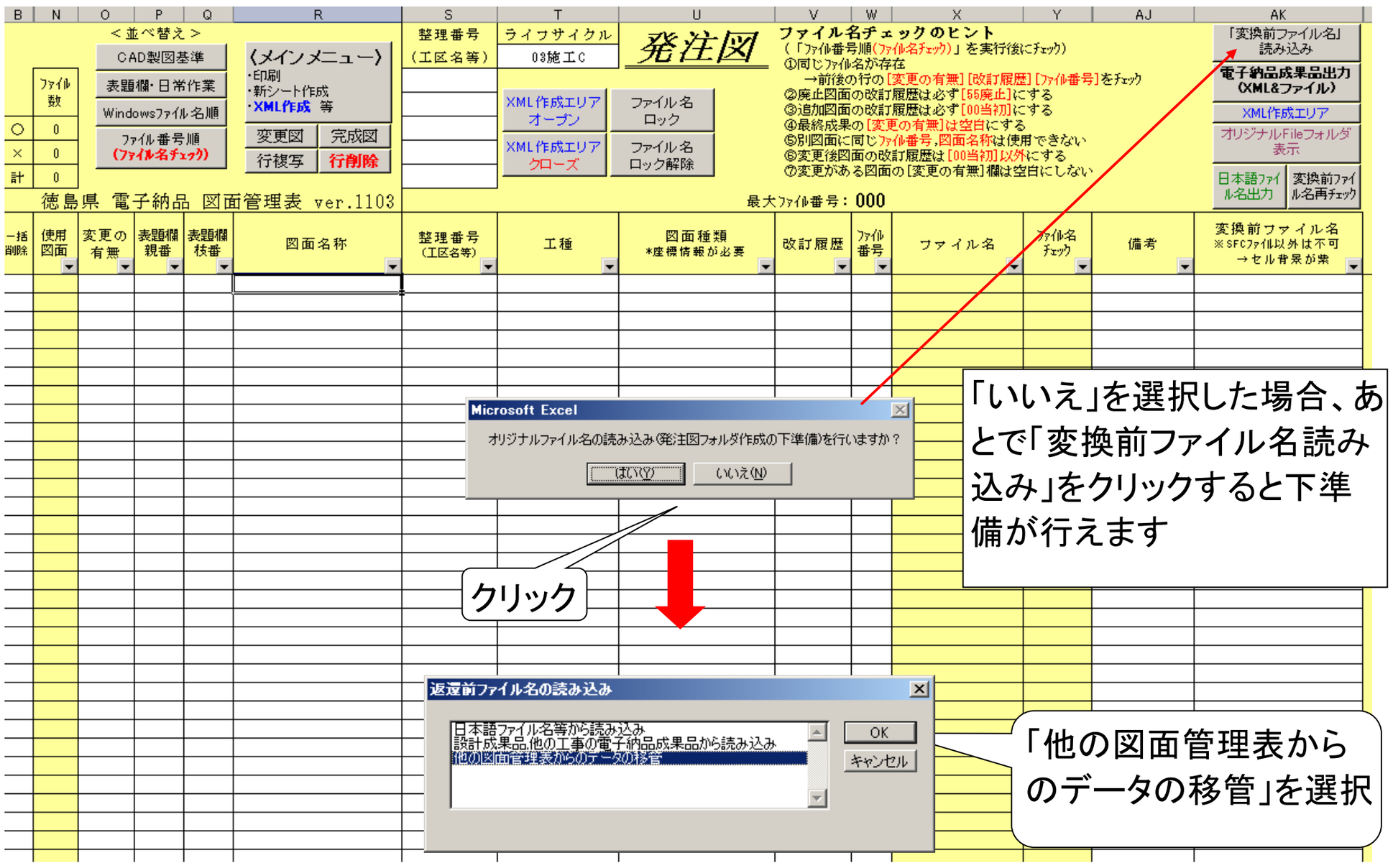
	○	×
移植先	発注図	発注図
移植元	発注図(0911は様式)	変更図やSTARTシート

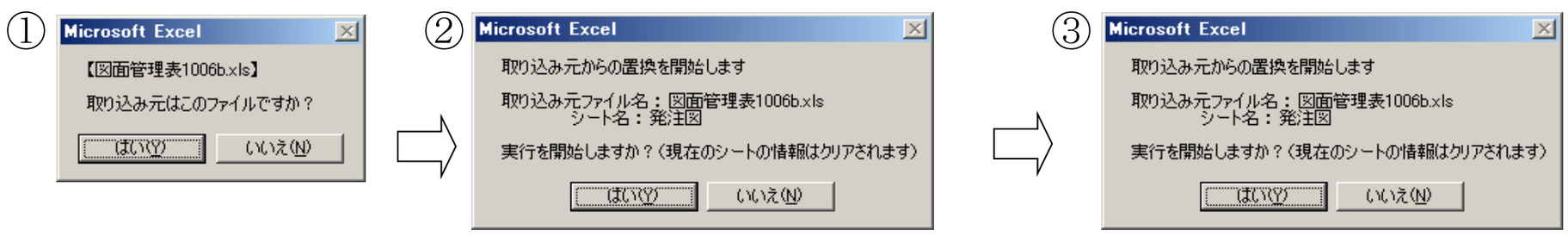
2 移植先の図面管理表の当該シート上での操作

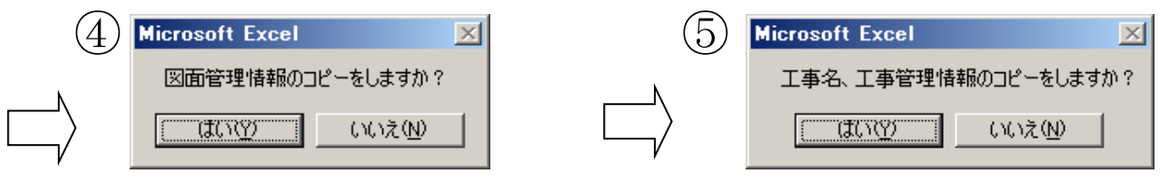


移植可能なパターン
※同じ種類のシートでなければ移植はできない

移植元	移植先
Ver. 0911	
1106	
1106a	0911
1106b	
1103	







コピーする場合は「はい」を選択　　コピーする場合は「はい」を選択

3 移植の完了(XMLエリア、工事、図面管理情報、工事名をチェック)

他の図面管理表からのデータの移植

＜並べ替え＞

	ファイル数
○	10
×	0
計	10

CAD製図基準
表題欄・日常作業
Windowsファイル名順
ファイル番号順（ファイル名チェック）

〈メインメニュー〉
・印刷
・新シート作成
・XML作成 等

変更図　完成図
行複写　行削除

整理番号（工区名等）

ライフサイクル：03施工C

XML作成エリアオープン　ファイル名ロック
XML作成エリアクローズ　ファイル名ロック解除

発注図

ファイル名チェックのヒント
（「ファイル番号順(ファイル名チェック)」を実行後にチェック）
①同じファイル名が存在
→前後の行の[変更の有無][改訂履歴][ファイル番号]をチェック
②廃止図面の改訂履歴は必ず[55廃止]にする
③追加図面の改訂履歴は必ず[00当初]にする
④最終成果の[変更の有無]は空白にする
⑤別図面に同じファイル番号,図面名称は使用できない
⑥変更後図面の改訂履歴は[00当初]以外にする
⑦変更がある図面の[変更の有無]欄は空白にしない

「変換前ファイル名」読み込み
電子納品成果品出力（XML&ファイル）
XML作成エリア
オリジナルFileフォルダ表示
日本語ファイル名出力　変換前ファイル名再チェック

徳島県 電子納品 図面管理表 ver.1103

最大ファイル番号：010

一括削除	使用図面	変更の有無	表題欄親番	表題欄枝番	図面名称	整理番号（工区名等）	工種	図面種類 *座標情報が必要	改訂履歴	ファイル番号	ファイル名	ファイル名チェック	備考	変換前ファイル名 ※SFCファイル以外は不可 →セル背景が桃	
	○		1		平面図	0	1道路	03平面図*PL	00当初	001	COPL0010.SFC			01平面図.SFC	1:
	○		2		縦断図	0	001道路	04縦断図PF	00当初	002	COPF0020.SFC			02縦断図.SFC	H= V=
	○		3		標準断面図(その1)	0	001道路	05標準横断図SS	00当初	003	COSS0030.SFC			03標準横断図(1).SFC	1:
	○		4		横断図(その1)	0	001道路	06横断図CS	00当初	004	COCS0040.SFC			04横断図(1).SFC	1:
	○		5		横断図(その2)	0	001道路	06横断図CS	00当初	005	COCS0050.SFC			05横断図(2).SFC	1:
	○		6		横断図(その3)	0	001道路	06横断図CS	00当初	006	COCS0060.SFC			06横断図(3).SFC	1:
	○		7		構造図(その1)	0	001道路	08小構造物図LS	00当初	007	COLS0070.SFC			07構造図(1).SFC	1:
	○		8		構造図(その2)	0	001道路	08小構造物図LS	00当初	008	COLS0080.SFC			08構造図(2).SFC	1:
	○		9		擁壁展開図	0	001道路	08小構造物図LS	00当初	009	COLS0090.SFC			09擁壁展開図.SFC	1:
	○		10		プレキャストガードレール基礎構造図	0	001道路	08小構造物図LS	00当初	010	COLS0100.SFC			10プレキャストガードレール基礎構造図.SFC	1: